

日吉二坑

(古河下山田炭銘)

坑内古洞岡縁田

古河鉛業株式会社
下山田鉱業所

所長 小林 一雄殿

昭和41年11月14日

共同石灰鉛業株式会社
日吉鉱業所

所長 山崎 久為

坑内探検図に關しお願ひ

謹啓。昨下初冬の際、貴社益々御看察の段、復至極に存じます。

貴所当鉱業費金の購提として何かと御注意を蒙りまして、何時も深く感謝して居ります。

擬々、現在当鉱の田舎一坑の深部新規地業区域(日吉新坑とクニカ崎新坑の間の当田舎一坑の旧本深部地帯)について、鋭意調査を実施中ですが、今回福岡保安監督局より総合検査(昭和41.10.17-22日)時及その追跡検査(同.11.7-10.)実施され、その結果、

該地業区域の隣接地区の掘進(古洞)状況及その古相水等について精査し、その対策を11月18日迄立案提出するよう指示を受けましたので、甚だ感嘆で恐縮ですが本件について貴所の掘進状況等、何れ御指導を受けたい、当鉱係員も出向させていただきます。詳細は是より御報告の上、坑内図の謄写と御許可下さいようお願ひ致します。

又本件について御指導も宜しくお願ひ申し上げます。

古河林業株式会社

下山田営業所

所長 小林一雄殿

後藤副社長 慶賀内宛先

徳田盛徳様

昭和42年11月22日
徳田盛徳様 御挨拶

所長 吉川英明

坑内採掘区に關しお願い

謹啓 昨下陽春候貴社並々御清承、及慶賀
至極に存じます。

陳着当銘儀貴社に隣接して向ヶの御庇護に蒙り
何時に深々感謝に居ります。

採掘 現在当銘、日向一坑、塚部舟柄採掘区域(旧時
ヶの採掘区の間、昨一坑、旧本の埋却地)に於て競合採掘
区域中では、今回福岡銘山厚安監督等の、該採掘区域
隣接銘区採掘(右同)状況、及貴の古洞水等について
再確認し、精査し、その対策と樹立手続の指示を受け
したつて、茲に厚安を以て御願ひに添附する。本件については
貴銘の採掘状況及銘区線、境界表等何れも御指導を
蒙りたく、当銘係員を派出させしめて宜敷詳細に直り
御教示の上、本件に關する図面及境界表等の勝手も
御許可下さる事と致し、お願い致します。

又本件について対策等の御指導を申して御願ひ申
上ります。

敬具

後藤副社長(敬啓)

徳田盛徳様

厚安 剛彦様

古河鉱業株式会社
下山田鉱業所
所長 小林 一雄殿

46
昭和 42 年 12 月 11 日
古河鉱業株式会社
日吉 鉱業所

所長 吉川 茂明

坑内採掘図に關しお願ひ

謹啓 昨下陽春の候 貴社並々御清栄の段慶賀

至極に存じます。

陳着当位儀 貴社の隣接として、何年かと御庇護を蒙りは
何時も深く感謝に居ります。

扱へ 現在当社の日吉二坑の深部新採掘区域(助野の
クマカ崎地区の間、旧一坑(旧本御深御地区)に於て採掘調査を
実施中ですが、今日福岡鉱山保安監督局より、該採掘区域の
隣接鉱区(古河)状況及その岩洞水等について
再確認し、精査し、その対策を樹立するよう指示を受けま
した。甚だ唐突をお願ひで恐縮ですが、本件についての
貴社の採掘状況及鉱区線の成果表等何分、御指導を
受けたく、当該係員と出向させますので、宜敷詳細に亘り
御教示の上、本件に關する図面及成果表等の謄写を
御許可下さいますよう、お願ひ致します。

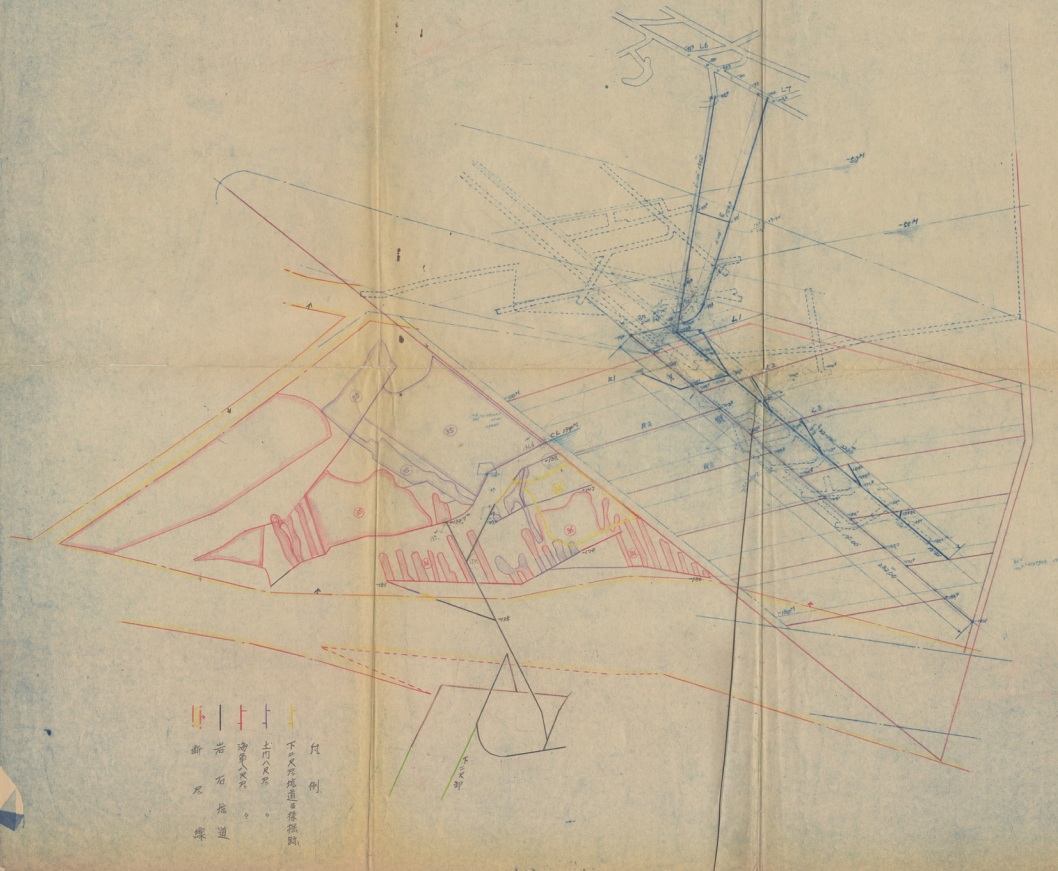
又本件についての対策等の御指導も変わって御願ひ申し
上げます。

敬具

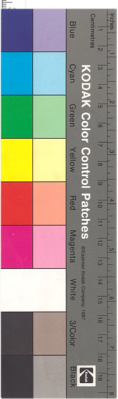
日吉二坑



日吉二坑 坑内图 縮尺 200分 1

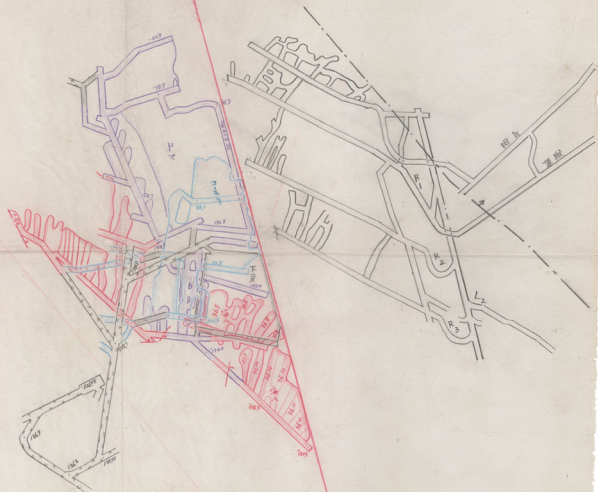


例
 上下及此處
 上下及此處
 上下及此處
 上下及此處
 断石
 断石
 断石
 断石



古河下山田鉾

古洞岡 1/200分の1 (1000分の1原図の縮尺の分)



古河鉱業株式会社

下山田鉱業所 所長 小林一雄殿

昭和43年3月6日

共同石炭鉱業株式会社

古河鉱業所 所長 吉川



日吉二坑区域の賣所古洞についての申入書

謹啓

日増しに春近きと思わせる折のう御社には、益々御隆昌の段にわう御喜の中にお祈り。当所も最も石炭産業の趨勢下に攻められた炭田と区域に於て鋭意努力を払っている現状であります。

採て昭和44年より当所日吉二坑は日吉新右衛門区域の採掘終了に伴い新田保野の新区域に採掘を移すべく採掘調査を実施し、新採掘より右部へ地盤掘進を展開中、土間入穴右二坑に於て地盤掘進(約15m)昭和42年10月30日予期せざる採掘古洞に遭遇し、驚愕した次第であります。

当区域は開発計画立案時に右部二賣所と地盤掘進同一にするので、該区域の採掘計画及び採掘上、保安上事前に古洞状況と調査する必要があると変更地帯等を提出する上から重要なので、賣所の古洞の御報告を事前(昭和44年3月)御願いた経緯があります。その時提示された図面には、当区域の近接には問題になる古洞は存在せず、従って地盤掘進調査で変更地帯等の認可(昭和44年9月2日)を受け開発中、たまたま当時の飯塚保安課警備室(定例予副官)と主査とする総合保安検査の日昭和44年11月7日より行われました。その前日吉二坑の近接古洞調査を調査し、地帯案記載の古洞の誤りも指摘され、当方の採掘上都合の悪い古洞を容認しているか如何に判断され、早急に賣所に処置を再調査する様を指示され、当所としては全く盲目に賣所の御報告の如くに承認したのであります。

従って昭和44年11月14日賣所に事情を説明し、当所今後の採掘上にも極めて重大な問題とありまますので、真実の現場実測図及び測量結果の御報告を求めましたところ、竊暗ミス、下二坑土間入穴海軍入穴の4層にわたり地盤掘進の新たな採掘古洞が判明し、更に加えて保安上極めて重大な水深古洞が確認された次第であり、此の事実に対しては、真に残念であります。貴所の営業継続も既にど

るを得ませす。今にして考えますと当該区域の侵掘をいかに免動的に判断かうしの思考せざるを得ません。

かま事情の下に日吉二坑採掘は大中に採掘対象区域が減少ししかも出水指定等による採掘上の制約が、加わり採掘計画の根本的な変更を余儀なくされ、日吉二坑の採掘計画は文中に概下日吉採掘全体採掘に、定極めて重大影響を与へたのであります。

其の後前記の採掘上の極めて重大な問題と抱かいた定ながら、大分県産の賣所のごことでありますので今後絶対に間違いは無いと信頼し、又当所として自主的にその調査費用を賚し、近接に同一問題の起ることは絶対に無いと確信し採掘を継続してまいりましたところ、賣所採掘古洞に達する、という不祥事件により日吉二坑採掘の一大挫折を招き日吉全体採掘にとつて極めて重大な問題となつたのであります。従つてこの旨直ちに昭和42年11月8日賣所に往へ、坑内図及び測量結果を提出し、本件について採掘調査の指令の御回答を御願ひ致しました。その後の経過としましては御承知の如く、当所より緊急に立会測量員による古洞位置の確認、現場状況の調査確認を要請し、12月1日貴所測量係長が坑内現場状況の確認が行はれ、賣所より大方の侵掘予見範囲の提示がありました。本件問題と如何に処理するかの、具体的な問題に就いては、未だ全然ふたふたす甚だ遺憾に思ふ次第であります。

其の後賣所に於ては、調査確認致しましたところ右二坑部(2-3号洞)に於て同一古洞と確認し、深部右五坑部は古洞集の種との顕著な溝と確認し採掘を中止しています。更に採掘区域は亦たホーリング等による完全確認に到っていませんが総合的に判断し、可成りな侵掘区域が予想される状態にあります。

かかる状態の下に於ける日吉二坑の採掘は、侵掘古洞の拡大により採掘は極めて悪化傾向にあり、出炭量、月産計も4,000トン/月42/8年、12月3644年、1月2915年、2月3227年、3月予想2,000年が示す様に現在坑内條件の悪化は甚だしく、保安上、労使間の不安定の増大により生産、保安、労務経営の各面で極めて重大な事態に立到っています。

本件に就きまして、当所として、

1. 大寺の名門、古河結業が当社の如く中小炭鉱の区域に侵蝕し、然も区域が明示されないことは書者間に於ける道義に及するものであり、信義上許すべからざる問題と考えます。
2. 保安監督局の指摘により事前に水没採掘区域を確認し事故に到らなかったが局の指摘が無く先の貴所御取次が如く古河を以て考え採掘が進んでいたならばと考えると、保安上、道義上極めて重大な問題であったはずであります。更に近衛古河の新たばこ増設により採掘計画の根本的な変更を余儀なくされ、二坑の採掘価値は勿論、日吉全体採掘に逆転して重大な影響を与えました。
3. 日吉二坑の右二坑は古河逆着は車両としてガス及び出水等の災害が無く、人命に影響がなかったら良かったものの、災害の発生を想起すると、極めて重大な問題であり、それだけに十分な問題であったと銘記し載せたいのであります。
4. 本件に関連する保安上の問題は、労働者に対する影響極めて大であり、保安上の不安要素、労使間の不信感が増大し、これを突証するべく証拠者がその数多くを又入坑等も低下している現状であります。
5. 当所の鉱区組合としての件には重大関心を示し、保安上から又組合員の不安感解消の爲にも侵蝕区域の早急な確認及び古河の取崩、水位確認、揚水等々費所に対し嚴重に申入る様、強硬を申入れを受け、此の対策も苦慮している状態であります。
6. 貴所侵蝕区域が不明確であることは当所に、根本的の採掘方針が立ち立たない、又当所の総合的判断より浮初区域は相当な侵蝕が予想される、更に排水井下に採掘が移行する場合、保安上重大な問題お出るので、絶対に保安上の安全対策を相立しなければなりません。かように日吉二坑の採掘は侵蝕区域の拡大により坑内條件の変化はその極にあり採掘上並に保安上全面的に計画を再検討せざるを得ない状態に達し、これにきています。
- 以上の如く当所の如く中小炭鉱にとっては予断せざる貴所への侵蝕による採掘区域の減少と相俟って今後の採掘上極めて重大な問題となっています。
7. 日吉二坑は有煙採掘の主力坑口で従来は極めて有利な坑内條件の下に日吉鉱務所全体採掘に非常に大きな役割を果してきてきたが、昭和22年12月以降出炭推移の示す如く現状に於ては

完全に採算性と喪失しつゝあり、本件は等しく日吉二坑採掘の問題のみに止まらず日吉全体採掘上極めて重大な問題と提起してあります。

上述の如く本件は侵蝕ということだけでも問題であるが、当所にとっては唯なる侵蝕という問題だけでなく、当所全体の存続、連結する問題となっており、従つて総合的な損害賠償を請求せざるを得ないと考えます。現実の厳しい石炭産業の下における中小炭鉱の実態を判断し、誠心れば、当方の申入れの妥当性は充分に御理解いたされるものと思考致します。

以上御質問の上記載ある各々の御回答に賜りたく、ここに書面を以て正式に申入れ致します。

岩 具

尚参考の爲に申述べます。

1. 貴所の当該古河区域は往時両社間の合理的関係と締結して断交し、境にして御社と協定し必要不足区域を一方に拡張増設し、当所の單一の採掘区域でありましたが、全然無採掘の停業期間にばり逆転し、区域であり、また、当増設区域は日吉二坑より開采の原、本邦、採算上の採掘と純意突進し土崩入りに着定し、土崩並に海軍入坑の採掘と採掘中でありましたが、大東亜戦争最中で開采より増産による増設特別法により、採掘地の採掘計画の中と余儀なくされ、一中止の最速とした経過と、隣社に、契約期限の延長と懇願しましたが、拒否されるところを、遂に昭和22年11月退還の上をなされたに因り、
2. 本件に就きましては福国炭産産量、石炭部、炭産課(総務課、炭産課を含む)及び福国炭山保安監督局も承知であります。
3. 本件に就きましては確認並に貴所に申入れを行い、翌月に到つた度、侵蝕と認められたが何等具体策と突進せず、又関係官庁より度々嚴重に抗議提出の御旨がありましたが、書者間の信義を重んじ、貴所の立場を考慮し、入れ、伺ふの回答を遂に今迄経過したものでありますが、当然全体採掘上の影響を判断し、正しく極に抗議と申述べると共に、誠意ある御回答と賜りたく、重く御説明申上るべき、

昭和43年3月4日

共同石炭鉱業株式会社

古河鉱業所 所長 吉



日吉=坑区域の貴所古洞についての申入書

謹啓

日増しに春近きと思われ春折から新社には、益々御座る段に申入申上ります。当所も最近、石灰石採掘の趨勢下に致された炭田区域に於て鋭意努力を払っている現状であります。

採掘昭和40年より当所日吉=坑は日吉新田西部区域の新採掘終了に伴い、新田西部の新区域に移転すべく、深部開采を實施し、新採掘より西部へ片側掘進を展開中、土間A×B、C×D、E×Fにて(掘進距離約150m)昭和42年10月30日子期せざる採掘古洞に達せし驚愕した次第であります。

当区域は開采計画立案時、右等は貴所と鉱田隣接同一にするので、該区域の採掘計画及び警備上、保安上事情に古洞状況の調査が必要であり、又変更採掘予定と出する上での重要を以て、貴所の古洞の御指示を事前:(昭和41年3月)御願ひいた経緯があります。其の時提示された図面には、当区域の直轄には問題となる古洞は存在せず、従って地回り図面と変更採掘案の認可(昭和41年9月2日)と受け開采中、たまたま当時の鉱規保安法有番 空留弁副長と主査とする総合保安検査、昭和41年11月7日の行はれました。その所日吉=坑の近傍古洞開採を調査し、地質学記載の古洞の誤りも指摘され、当方と貴所と聯合の意見古洞と判明しているが如くに判断され、早急に貴所に此の再調査する様子を指示され、当所としては全く前記と貴所の御指示と相違に采炭としたのであります。

従って昭和41年11月1日貴所に事情と説明し、当所の今後採掘上の採掘で重大な問題と申上りましたので、真実の現場実測図及び開采部長と御指示と求めましたところ、崎崎と申上り、下=坑土間A×B、C×D、E×Fの4区にわたり鉱田隣接の新たな採掘古洞が判明し、更に加えて保安上極めて重大な水害古洞が確認され、次第であり、此の事實に於ては、真に残念であります。貴所の鉱業運後と鑑ば

るを得ませす。今にして考えますと当該区域の侵蝕と云ふ是論的は判断からしむる思考せざるを得ません。

かゝる事情の下に日吉=坑採掘は大中=採掘対照区域の満ち、しかも出所指定等による採掘上の制約が加わり採掘計画の種々な変更を余儀なくされ、日吉=坑の採掘計画は大中に低下し日吉採掘計画全体採掘に達極して重大影響を与へたのであります。

其の後前記の採掘上の極度で重大な問題と抱かされたをがら、大宇炭鉱の貴所のことと申上りますので今後地所に同道しは無いと信頼し、又当所として自主的にその調査開発と致し、近接に(問題)起ることは極度に無いと確信し採掘を継続してまいりましたところ、貴所採掘古洞に達せし、不詳事件により日吉=坑採掘の一大挫折と括り日吉全体採掘にとつて極めて重大な問題と申上るのであります。然つてその自主的に昭和42年11月8日貴所に往入、坑内図及び測量結果を提出し、本件に於ては検討調査され何れの御回答と御願ひ致しました。その後の経緯としては御承知の如く、当所の早急に立会測量等による古洞位置の確認、現場状況の調査確認を要請し、12月1日貴所調査部長が入坑現場状況の確認が行はれ、貴所より大方の侵蝕予想範囲の提示がありました。が本問題と如何に処理するも採掘の具体的な問題に就いては未だ全然然らざるす甚だ遺憾に思ふ次第であります。

其の後当所に於ては調査確認致したところ右等三層(2-3号坑内)に於て同一古洞と確認し、深部 右等三層は古洞の極度に顕著な湧水と確認し採掘中止として、また、更に深部記録は未だボリウ等による完全確認は行われていませんが総合的に判断し、可成りな侵蝕区域が予想される状態にあります。

かゝる状況の下に於ける日吉=坑の採掘は侵蝕古洞の状況により採掘は極度に思はれ傾向にあり、出来度、月産計画4000噸の11月24日、12月26日、1月27日、2月22日、3月15日等、2000噸が示す様に現在坑内條件の悪化は甚だ極にあり、採掘上並劣使用の不安定な増大により生産、保安、業務経営の各面から極めて重大な事態に立到っています。

本件に就きまして 当所として、は

1. 大手の各町古河鉄業がその如く中小炭鉱の区域に侵蝕し然も区域が明示される、ということは業者間における道義に及ぼるものであり、信義上野の問題と考えます。

2 保安監督局の指摘による事前には水浸探鉱区域を承認こそ事故に到つたがた局の指摘が早く先の資料御返下り如く古河をして考え探鉱が進んでいたならばと考へると、保安上、道義上極めて重大な問題であつたはずであります。更に近接古河の新たな増強により採算計画の根本的な変更と含義なくこれ二坑の採算価値は勿論、日吉全体採算に及ぼして重大な影響を与へました。

3 日吉二坑の右二坑の古河産着は幸いにオス及び出水等の災害が早く人命に影響がなかったら良かったもの、災害の発生を想起すると極めて重大な問題であり、是れだけでは済まされない問題であつたと断言して戴きたいものであります。

4 本件に関連する保安上の問題は労働者に対する影響極めて大であり、保安上の不安定感、歩保向の不信用が増大し、これを突証するべく選取若くは他の後多くなり又入坑率も低下している現状であります。

5 当所の鉱取組合はこの件には重大関心と手紙し、保安上及び組合員の不満足河川の難にも侵蝕区域の早急な確認及び古河の取崩、水浸確認、揚水等と實所に於て最重に申入れる様に強硬な申入れを受け、此の対策も苦慮して、3段階であります。

6 貴所の侵蝕区域が不明確であることは、当所としては根本的な探鉱方針が立てられない、又、当所の総合的判斷より得部区域は相当な探鉱が予想される、更に排水岸下に探鉱が移行する場合、保安上重大な問題があるのを、絶対に保安上の安全対策を講じておかなければならぬ。かように日吉二坑の採算は侵蝕区域の拡大により坑内採算の悪化はその極にあり採算上並に保安上全面的に計画を再検討せざるを得ない状態に達して来ております。

以上を如く、当所の如く中小炭鉱に、これは予期せざる貴所への侵蝕による採算区域の減少と相俟つて今後の採算上極めて重大な問題となつております。

7 日吉二坑は有償採算の主力坑口で従来極めて有利な坑内保件の下に日吉鉱業所全体採算に非常に大きな役割を果してきて来たが昭和42年12月以降出炭推移の示す如く現状に於ては

完全に採算性も喪失しつゝ、本件は更に日吉二坑採算の問題のみに止まらず日吉全体採算上極めて重大な問題を提起してあります。

上述の如く本件は侵蝕という問題だけではない問題であるが、当所にとっては採算性の侵蝕という問題だけであるが、採算性の存在に直接問題となつており従つて総合的の採算性確保を要求することを得ないと考へます。現実の厳しい石炭産業の下における中小炭鉱の突進と判断して戴けば、貴方の申入れの妥当性は充分に御理解したりますものと思つて致します。

以上御提案の上誠意ある御回答を賜りたく、ここに書面を以て正式に申入致します。

岩井

尚参考の用に申述べますと、

- 1 貴所の各坑古河区域は在時再仕向の合理的開発と目的として所定と焼いと御社と協定し受取ると区域面一方向掘進停止、貴所の貴取所探鉱区域でありしが今後採算性の低劣の懸念に即ち返却区域であつた、当時探鉱区域は日吉二坑より南側の原、本町、掛尾町の掘進と採算区域との間に入り着定し出炭に確保に入り探鉱と準備中であつたが、大連並戦争の最中で開発も増産も必要の同時採算には、該地帯の探鉱計画の中止と合議をされ一時中止の経理に御社に契約期限の延長と認めたしが、拒否されることとなり返却に昭和42年11月返還の止むを得ない状態に成つております。此の掘進停止区域の侵蝕があるために尚一遺憾に思つております。
- 2 本件に就ては、日吉二坑の採算、石炭部、炭業課(採算に成算的採算)及び福岡鉄山保安監督局も承知されてあります。
- 3 本件に就ては、明確直ちに貴所に申入れ、翌月一応一応侵蝕を認められたが、何某採算と突進、又所保管方針し反々嚴重なる抗議提出の御言があるに於て、業者間の信義と貴所に立場と考慮に入れ、便宜の因素も考慮し、今日迄経過したものであります。当該全体採算への影響を判断し、止むを得ない探鉱を中止せざるに、誠意ある御回答を賜りたく、貴方の御説明中にて承ります。



五反田福延三角一ニ坑口結測角測成果表

昭和 12 年 11 月 5 日測量

観測点	水準点	方位角	四分方位	斜距離	傾角	水平距離	真		磁				磁差	傾点	水準差	磁差	高差	距離(海抜)	
							Sin	Cos	N	S	E	W							
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120
121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140
141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160
161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180
181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200
201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220
221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240
241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260
261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280
281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300
301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320
321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340
341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360
361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380
381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400
401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420
421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440
441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460
461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480
481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500
501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520
521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540
541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560
561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580
581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600
601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620
621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640
641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660
661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680
681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700
701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720
721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740
741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760
761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780
781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800
801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820
821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840
841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860
861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880
881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900
901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920
921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940
941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960
961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980
981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000

控

古河下山田炭鉱掘出

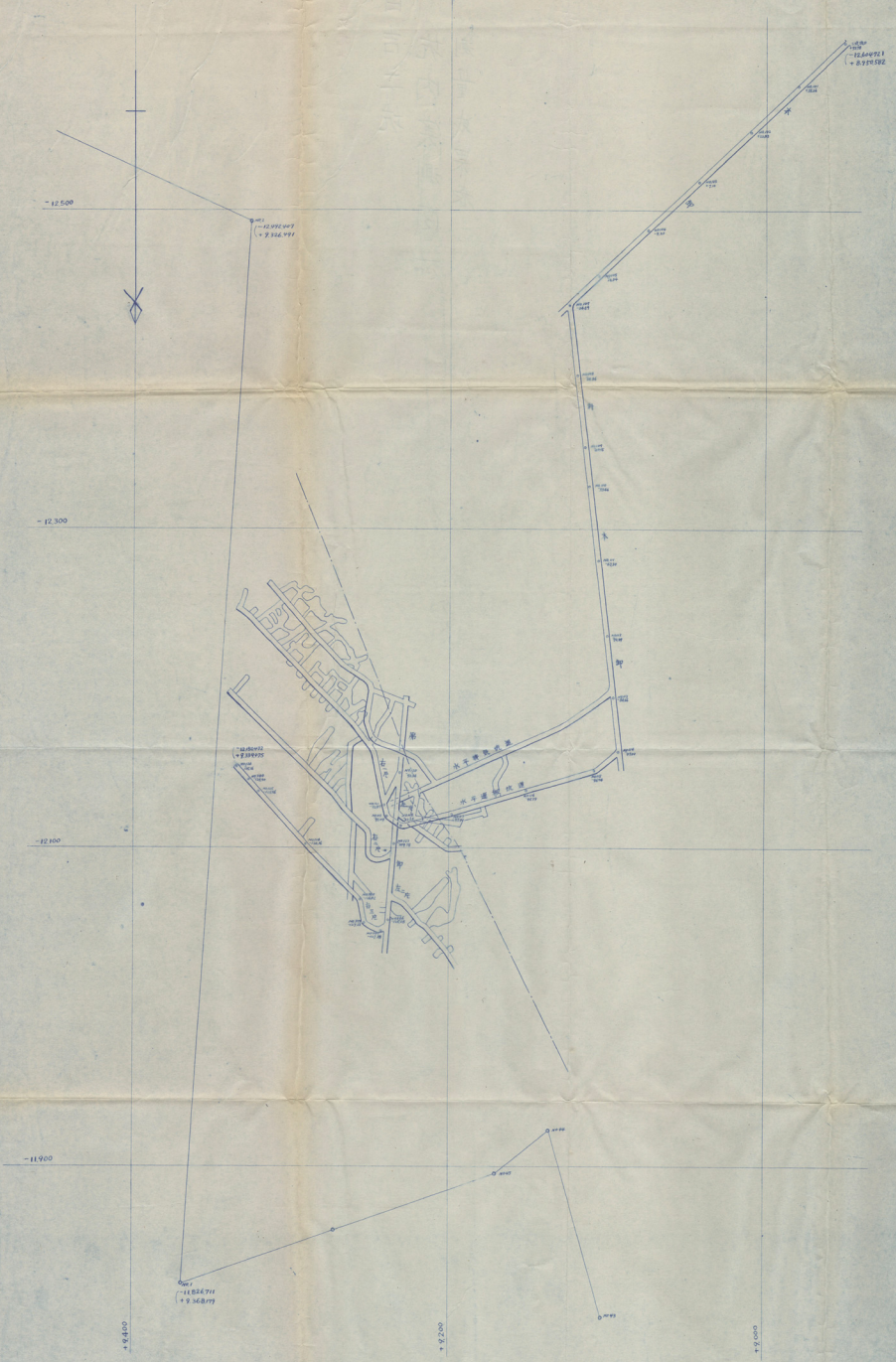
日吉二坑

坑内実測図

測量成果表

六

二坑坑內圖 縮尺 1/1200



対数計算表

五反田三浦吳——日吉坑

$$P \quad \frac{28}{60} = 0.4667 \quad \frac{35}{60} = 0.5833 \quad \frac{45}{60} = 0.7500 \quad \frac{55}{60} = 0.9167$$

\sin		\cos	
$57-49-15''$		$57-49-15''$	
0.8413981	$1547 \times \frac{25}{60} = 636.25$	0.5326301	$246 \times \frac{25}{60} = 102.5$
$+ 1000$	$+ 1.000$	$- 2247$	$+ 2247$
<hr/>		<hr/>	
0.8464701		0.5324054	

\sin		\cos	
$84-19-05''$		$84-19-05''$	
0.9953633	$277 \times \frac{5}{60} = 23.08$	0.0161353	$2895 \times \frac{5}{60} = 241.25$
$+ 23$	$+ 23$	$- 241$	$+ 241$
<hr/>		<hr/>	
0.9950706		0.0161112	

\sin		\cos	
$84-37-25''$		$84-37-25''$	
0.9956437	$271 \times \frac{25}{60} = 112.9$	0.0932395	$2836 \times \frac{25}{60} = 1180$
$+ 113$	$+ 113$	$- 1180$	$+ 1180$
<hr/>		<hr/>	
0.9966560		0.0931188	

\sin		\cos	
$62-42-45''$		$62-42-45''$	
0.8847506	$1333 \times \frac{25}{60} = 555.4$	0.4583910	$268 \times \frac{25}{60} = 111.7$
$+ 555$	$+ 555$	$- 199$	$+ 199$
<hr/>		<hr/>	
0.8886506		0.4587971	

\sin		\cos	
$31-09-25''$		$31-09-25''$	
0.5172304	$2409 \times \frac{25}{60} = 1003.75$	0.8558160	$1505 \times \frac{25}{60} = 627$
$+ 1004$	$+ 1004$	$- 627$	$+ 627$
<hr/>		<hr/>	
0.5173041		0.8557633	

\sin		\cos	
$6-37-45''$		$6-37-45''$	
0.1152241	$2890 \times \frac{25}{60} = 1195.8$	0.9933393	$336 \times \frac{25}{60} = 140$
$+ 1196$	$+ 1196$	$- 140$	$+ 140$
<hr/>		<hr/>	
0.1154427		0.9933141	



2

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 75^{\circ}42'15'' \\ 0.9690157 \\ \hline 0.9670337 \end{array} \quad \begin{array}{r} 118 \times \frac{5}{60} = 9.833 \\ + 1.30 \\ \hline 11.133 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 75^{\circ}42'15'' \\ 0.2469770 \\ \hline 0.2469246 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2319 \times \frac{5}{60} = 193.25 \\ \hline 193.25 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 72^{\circ}07'05'' \\ 0.9518623 \\ \hline 0.9518477 \end{array} \quad \begin{array}{r} 891 \times \frac{5}{60} = 74.25 \\ \hline 74.25 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 72^{\circ}07'05'' \\ 0.3065261 \\ \hline 0.3065030 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2769 \times \frac{5}{60} = 230.75 \\ \hline 230.75 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 87^{\circ}07'15'' \\ 0.9998812 \\ \hline 0.9998823 \end{array} \quad \begin{array}{r} 44 \times \frac{5}{60} = 3.666 \\ \hline 3.666 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 87^{\circ}07'15'' \\ 0.0154165 \\ \hline 0.0153438 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2909 \times \frac{5}{60} = 242.416 \\ \hline 242.416 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 73^{\circ}27'55'' \\ 0.9485715 \\ \hline 0.9486474 \end{array} \quad \begin{array}{r} 322 \times \frac{5}{60} = 26.833 \\ \hline 26.833 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 73^{\circ}27'55'' \\ 0.2848520 \\ \hline 0.2845763 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2989 \times \frac{5}{60} = 249.083 \\ \hline 249.083 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 71^{\circ}37'05'' \\ 0.9489678 \\ \hline 0.9489784 \end{array} \quad \begin{array}{r} 917 \times \frac{5}{60} = 76.416 \\ \hline 76.416 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 71^{\circ}37'05'' \\ 0.3153730 \\ \hline 0.3153200 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2961 \times \frac{5}{60} = 246.75 \\ \hline 246.75 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 77^{\circ}30'45'' \\ 0.9762760 \\ \hline 0.9763432 \end{array} \quad \begin{array}{r} 629 \times \frac{5}{60} = 52.416 \\ \hline 52.416 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 77^{\circ}30'45'' \\ 0.2164396 \\ \hline 0.2162268 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2840 \times \frac{5}{60} = 236.666 \\ \hline 236.666 \end{array}$$

3

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 55-39-05'' \\ 0.8256062 \\ \hline 137 (+) \\ \hline 0.8256199 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 55-39-05'' \\ 0.5642469 \\ \hline 107 \\ \hline 0.6642267 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2441 \times \frac{5}{60} = 203.4 \\ \hline 200 \\ \hline 2.00 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 41-53-25'' \\ 0.6676160 \\ \hline 703 (+) \\ \hline 0.6677063 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2166 \times \frac{25}{60} = 902.5 \\ \hline 903 \\ \hline 0.7442448 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 41-53-25'' \\ 0.744058 \\ \hline 310 (-) \\ \hline 0.7442448 \end{array} \quad \begin{array}{r} 1947 \times \frac{25}{60} = 802.9 \\ \hline 810 \\ \hline 8.10 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 37-04-45'' \\ 0.602242 \\ \hline 1074 (+) \\ \hline 0.602906 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2258 \times \frac{45}{60} = 1693.5 \\ \hline 1694 \\ \hline 0.7762786 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 37-04-45'' \\ 0.796432 \\ \hline 1376 (-) \\ \hline 0.7762786 \end{array} \quad \begin{array}{r} 1034 \times \frac{45}{60} = 775.5 \\ \hline 776 \\ \hline 7.76 \end{array}$$

34

$$\begin{array}{r} \checkmark \sin 41-33-05'' \\ 0.6632734 \\ \hline 61 (+) \\ \hline 0.6632915 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2176 \times \frac{5}{60} = 181.3 \\ \hline 181 \\ \hline 0.7483772 \end{array} \quad \begin{array}{r} \cos 41-33-05'' \\ 0.7483772 \\ \hline 61 (-) \\ \hline 0.7483861 \end{array} \quad \begin{array}{r} 1930 \times \frac{5}{60} = 159.1 \\ \hline 161 \\ \hline 1.61 \end{array}$$

(C) $\frac{25}{60} = 0.41666$ $\frac{25}{60} = 0.41666$
0.41666

\checkmark $n=46-44-45$ 82730 000 25210
 0.7281716 $1774 \times \frac{25}{60} = 1495.5$ 0.6853248 $218 \times \frac{25}{60} = 1520.5$
 $-1496 (+)$ $= 1496$ $-1521 (-)$ $= 1529$
 0.7283212 0.6852359

\checkmark $n=46-44-45$ 80291 000 20097
 0.7217574 $2015 \times \frac{25}{60} = 839.583$ 0.6925630 $2099 \times \frac{25}{60} = 874.583$
 $-840 (+)$ $= 838$ $-875 (-)$ $= 875$
 0.7214114 0.6924755

\checkmark $n=46-44-45$ 81320 000 20520
 0.7309568 $1985 \times \frac{25}{60} = 1654.166$ 0.6824239 $2126 \times \frac{25}{60} = 1771.666$
 $-1487 (+)$ $= 1487$ $-1775 (-)$ $= 1775$
 0.7311057 0.6822642

\checkmark $n=47-45-45$ 82401 000 21200
 0.7313537 $1984 \times \frac{25}{60} = 825.333$ 0.6819984 $2128 \times \frac{25}{60} = 886.666$
 $-829 (+)$ $= 825$ $-887 (-)$ $= 887$
 0.7314362 0.6819099
 0.7317364 0.6819099

\checkmark $n=47-46-45$ 84195 000 20470
 0.7364908 $1987 \times \frac{25}{60} = 1655.833$ 0.6764476 $2143 \times \frac{25}{60} = 1602.5$
 $-1475 (+)$ $= 1475$ $-1607 (-)$ $= 1607$
 0.7366383 0.6762869

\checkmark $n=7-11-55$ 116930 000 20130
 0.1256218 $2886 \times \frac{15}{60} = 2604.5$ 0.9920782 $366 \times \frac{15}{60} = 335.5$
 $-2645 (+)$ $= 2645$ $-335 (-)$ $= 335$
 0.1258863 0.9920447



$\frac{25}{60} = 0.58333$ $\frac{55}{60} = 0.91666$

$n \sim 6-30-35$ 111.150 11.250
 0.1132032 $2870 \times \frac{25}{60} = 1685.0$ 0.9935717 $330 \times \frac{55}{60} = 292.5$
 $\quad \quad \quad 1685 (+)$ $= 1685$ $\quad \quad \quad 19.8 (-)$ $= 192$
 $0.1133718 \checkmark$ $0.9935526 \checkmark$ 173

$n \sim 6-15-55$ 179.009 11.075
 0.1088669 $2870 \times \frac{55}{60} = 2650.0$ 0.9940563 $370 \times \frac{55}{60} = 270.8$
 $\quad \quad \quad 2650 (+)$ $= 2650$ $\quad \quad \quad 2.91 (-)$ $= 20.1$
 $0.1091319 \checkmark$ $0.9940272 \checkmark$

$n \sim 7-15-55$ 146.005 20.105
 0.1261990 $2895 \times \frac{55}{60} = 2642.5$ 0.9920047 $367 \times \frac{55}{60} = 336.4$
 $\quad \quad \quad 2645 (+)$ $= 2645$ $\quad \quad \quad 3.66 (-)$ $= 31.6$
 $0.1264635 \checkmark$ $0.9919713 \checkmark$

$n \sim 6-45-35$ 111.117 12.145
 0.1192704 $2807 \times \frac{35}{60} = 1635.2$ 0.9928518 $347 \times \frac{35}{60} = 202.4$
 $\quad \quad \quad 1685 (+)$ $= 1685$ $\quad \quad \quad 202 (-)$ $= 202$
 $0.1194389 \checkmark$ $0.9928416 \checkmark$

$n \sim 6-31-15$ 111.120 11.145
 0.1134922 $2890 \times \frac{15}{60} = 722.5$ 0.9935389 $331 \times \frac{15}{60} = 82.7$
 $\quad \quad \quad 723 (+)$ $= 723$ $\quad \quad \quad 82 (-)$ $= 82$
 $0.1135645 \checkmark$ $0.9935306 \checkmark$

$n \sim 5-33-55$ 153.231 15.910
 0.0967144 $2875 \times \frac{55}{60} = 1653.7$ 0.9953122 $282 \times \frac{55}{60} = 251.5$
 $\quad \quad \quad 2654 (+)$ $= 2654$ $\quad \quad \quad 2.91 (-)$ $= 20.1$
 $0.0969798 \checkmark$ $0.9952953 \checkmark$

1.316

1.3427



(6)

$$\begin{array}{r} \sim 61-37-25 \\ 0.7833741 \\ \hline 75 (+) \\ \hline 0.7833742 \end{array} \quad \begin{array}{r} 1266 \times \frac{25}{60} = 527.5 \\ 527.5 \\ \hline = 757 \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{Cum} \\ 0.6209178 \\ \hline 22.871 \times \frac{25}{60} = 95.2917 \\ \hline = 95.2917 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \sim 72-30-45 \\ 0.9588197 \\ \hline 620 (+) \\ \hline 0.9588197 \end{array} \quad \begin{array}{r} 3170 \\ 826 \times \frac{45}{60} = 617.5 \\ 620 \\ \hline = 620 \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{Cum} \\ 0.2840153 \\ \hline 20.89 \times \frac{45}{60} = 12.7125 \\ \hline = 12.7125 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \sim 71-44-05 \\ 0.9496080 \\ \hline 76 (+) \\ \hline 0.9496156 \end{array} \quad \begin{array}{r} 4445 \\ 911 \times \frac{5}{60} = 75.9 \\ 76 \\ \hline = 76 \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{Cum} \\ 0.3134400 \\ \hline 27.62 \times \frac{5}{60} = 2.3017 \\ \hline = 2.3017 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \sim 77-43-45 \\ 0.9771075 \\ \hline 464 (+) \\ \hline 0.9771539 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2281 \\ 618 \times \frac{45}{60} = 463.5 \\ 464 \\ \hline = 464 \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{Cum} \\ 0.2129462 \\ \hline 25.43 \times \frac{45}{60} = 19.1225 \\ \hline = 19.1225 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \sim 54-18-15 \\ 0.8120835 \\ \hline 424 (+) \\ \hline 0.8121259 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2144 \\ 1577 \times \frac{15}{60} = 392.75 \\ 424 \\ \hline = 424 \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{Cum} \\ 0.5835412 \\ \hline 23.62 \times \frac{15}{60} = 5.905 \\ \hline = 5.905 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \sim 14-43-35 \\ 0.2540393 \\ \hline 164 (+) \\ \hline 0.2542034 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2217 \\ 2217 \times \frac{35}{60} = 1280.75 \\ 164 \\ \hline = 164 \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{Cum} \\ 0.9671719 \\ \hline 739 \times \frac{35}{60} = 431.0 \\ \hline = 431 \end{array}$$

(1)

$n^{\circ} 26.32-45^{\circ}$ 0.7300 Ca 0.9400

$$\begin{array}{r} 0.4441140 \\ +) 1755 \checkmark \\ \hline 0.4443095 \end{array}$$

$2661 \times \frac{25}{60} = 1355$ 0.8959703 $1272 \times \frac{25}{60} = 969$

$$\begin{array}{r} -) 969 \checkmark \\ \hline 0.8958734 \end{array}$$

$n^{\circ} 4-52-45$ 0.14910 Ca 0.1105

$$\begin{array}{r} 0.0848273 \\ +) 2174 \checkmark \\ \hline 0.0850447 \end{array}$$

$2892 \times \frac{25}{60} = 2174$ 0.9963748 $247 \times \frac{25}{60} = 185$

$$\begin{array}{r} -) 185 \checkmark \\ \hline 0.9963763 \end{array}$$

$n^{\circ} 4-32-25$ 0.22025 Ca 0.2108

$$\begin{array}{r} 0.0790271 \\ +) 1206 \checkmark \\ \hline 0.0791477 \\ \hline 0.0791597 \end{array}$$

$2899 \times \frac{25}{60} = 1208$ 0.9962715 $230 \times \frac{25}{60} = 96$

$$\begin{array}{r} -) 96 \checkmark \\ \hline 0.9962619 \end{array}$$

$n^{\circ} 33-00-45$ 0.55811 Ca 0.26105

$$\begin{array}{r} 0.5446330 \\ +) 1830 \checkmark \\ \hline 0.5464630 \end{array}$$

$2440 \times \frac{25}{60} = 1830$ 0.8386706 $1581 \times \frac{25}{60} = 1189$

$$\begin{array}{r} -) 1189 \checkmark \\ \hline 0.8385517 \end{array}$$

$n^{\circ} 64-46-15$ 0.26800 Ca 0.23015

$$\begin{array}{r} 0.9045772 \\ +) 310 \checkmark \\ \hline 0.9046102 \end{array}$$

$1240 \times \frac{25}{60} = 310$ 0.4263056 $2631 \times \frac{25}{60} = 658$

$$\begin{array}{r} -) 658 \checkmark \\ \hline 0.4262398 \end{array}$$

$n^{\circ} 8-48-35$ 0.14015 Ca 0.1610

$$\begin{array}{r} 0.1629558 \\ +) 1677 \checkmark \\ \hline 0.1631235 \end{array}$$

$2875 \times \frac{25}{60} = 1677$ 0.9882284 $446 \times \frac{25}{60} = 260$

$$\begin{array}{r} -) 260 \checkmark \\ \hline 0.9882024 \end{array}$$



8

$n 45-46-15$

$$\begin{array}{r} 0.7165049 \\ +) \quad 507 \\ \hline \end{array}$$

$$2029 \times \frac{58}{60} = 15072$$

000

$$\begin{array}{r} 0.6975841 \\ -) \quad 521 \\ \hline \end{array}$$

$$2025 \times \frac{58}{60} = 1521$$

$$\checkmark \underline{0.7165456}$$

$$\checkmark \underline{0.6975300}$$

$n 41-54-55$

$$\begin{array}{r} 0.6678326 \\ +) \quad 1784 \\ \hline \end{array}$$

$$2164 \times \frac{58}{60} = 1784$$

$$\begin{array}{r} 0.7443115 \\ -) \quad 1780 \\ \hline \end{array}$$

$$1742 \times \frac{58}{60} = 1780$$

$$\checkmark \underline{0.6680310}$$

$$\checkmark \underline{0.7441335}$$

$n 41-41-55$

$$\begin{array}{r} 0.6650131 \\ +) \quad 1792 \\ \hline \end{array}$$

$$2173 \times \frac{58}{60} = 1792$$

$$\begin{array}{r} 0.7468317 \\ -) \quad 1774 \\ \hline \end{array}$$

$$1735 \times \frac{58}{60} = 1774$$

$$\checkmark \underline{0.6652123}$$

$$\checkmark \underline{0.7466543}$$

$n 39-32-15$

$$\begin{array}{r} 0.6365270 \\ +) \quad 561 \\ \hline \end{array}$$

$$2293 \times \frac{58}{60} = 561$$

$$\begin{array}{r} 0.7712544 \\ -) \quad 463 \\ \hline \end{array}$$

$$1052 \times \frac{58}{60} = 463$$

$$\checkmark \underline{0.6365831}$$

$$\checkmark \underline{0.7712081}$$

$n 46-17-45$

$$\begin{array}{r} 0.7227661 \\ +) \quad 1508 \\ \hline \end{array}$$

$$2070 \times \frac{58}{60} = 1508$$

$$\begin{array}{r} 0.6910927 \\ -) \quad 1577 \\ \hline \end{array}$$

$$2103 \times \frac{58}{60} = 1577$$

$$\checkmark \underline{0.7229169}$$

$$\checkmark \underline{0.6909350}$$



25-28-15

con

$$0.5825959$$

$$230 \times \frac{15}{60} = 57.5$$

$$0.8127620$$

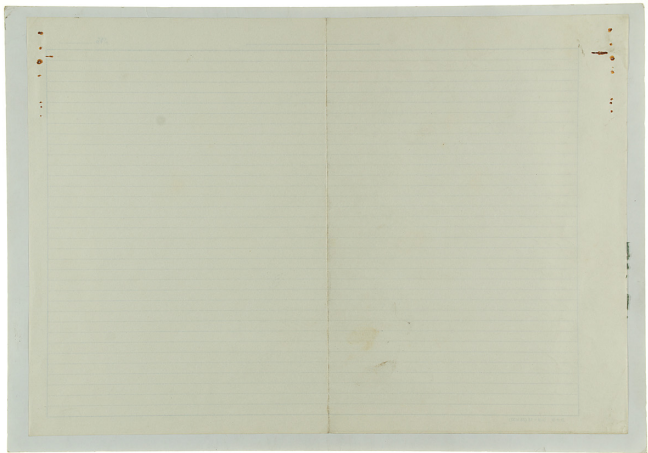
$$\frac{591}{17}$$

$$424 = 115 \times \frac{11}{20} \times 4 = 24$$

$$0.5826550$$

$$0.8127176$$





(五及四種地=解~日吉=地=地測)

角測量成果表

點號	接線點	水平角	方位角	四分方位	斜距離	垂直角	水平距離	緯		經		磁緯距	磁經距	點名	水準差	磁偏角	觀正	高下	點間高差	高程(海抜)	記	事(略圖)	
								N	S	E	W												
測出	測入	332.18-165	202.10-165	17.47-155	5.577	79-18	5.295	2.877			12.520.827	7.271.762	300144							91.416			
測1	測2	191-18-05	269.23-05	34.13-05	12.784	20-47	12.573	1.203			4.402	12.518.010	9.267.480	測1						90.805			
測2	測3	130-10-20	269.33-25	34.33-25	16.104	30-57	16.811	1.286			13.951	12.520.499	9.241.274	測2						86.359			
測3	測4	138-04-20	294.33-20	32.03-05	37.048	31-31	36.466	15.772			30.635	12.536.291	9.210.639	測3						78.891			
測4	測5	190.25-10	211.07-25	31.07-25	44.872	70-50	44.072	37.725			22.802	12.574.006	9.187.837	測4						66.435			
測5	測6	152-20-20	194.07-05	6-17-05	37.538	78-22	28.033	27.846			3.236	12.601.852	9.184.601	測5						69.262			
測6	測7	170.00-00	289.19-45	33-02-15	37.969	2-27	37.963	9.369			36.768	12.592.487	9.147.833	測6						57.265			
測7	測8	197.51-20	252.03-05	32.07-25	25.649	3-47	25.608	7.819			24.200	12.600.301	9.123.553	測7						57.172			
測8	測9	170.00-00	270.51-05	33-02-15	52.225	7-53	52.177	0.801			52.171	12.599.500	9.071.362	測8						50.872			
測9	測10	195.27-20	206.31-05	33-12-15	92.347	7-26	41.931	11.950			40.155	12.587.550	9.031.107	測9						50.216			
測10	測11	191-05-00	257.37-05	31-37-05	53.032	7-40	35.017	11.043			33.230	12.598.593	8.997.899	測10						57.049			
測11	測12	195-23-00	257.31-05	32-36-05	58.128	5-23	58.078	12.558			56.704	12.611.151	8.941.173	測11						57.315			
測12	測13	318-28-20	15-23-05	33-17-15	12.250	20-55	11.376	6.740		9.409	12.604.721	8.950.582	測12						56.118				
測13	測14										12.616.015	8.950.785	測13						57.202				
											0.1274	0.2203	測14						78.754				
																			0.2228				
測15	測16	295-21-20	44-53-05	41.53-15	46.044	7-24	46.020	34.166		30.735	12.552.289	9.061.892	測15						+ 57.209				
測16	測17	177-10-20	37-07-05	32-19-05	40.121	7-44	40.134	37.365		30.843	12.575.919	9.092.185	測16						57.648				
測17	測18	182.18-20	41-33-05	41-33-05	20.477	5-35	20.322	15.208		13.477	12.508.711	9.105.464	測17						55.663				
											12.501.336	9.116.129	測18						52.72				
											0.1195	0.0466	測19						0.1193				
測出	測入	224.21-25	33-18-15		500.000		406.360			291.328	12.114.469	8.980.634	測19						0.1193				



(日誌=地口~右3成)

南測量成果表

測點	觀測點	水平角	方位角	四分方位	斜距離	傾角	水平距離		緯距		經距		測點	水準差	點間距離	視上	視下	點間高程	高程(海拔)	記	事(略)
							N	S	E	W	緯距	經距									
10001	10002	171-5-20	46-07-01	46-07-01	42.102	31-09	40.016	27.230	27.185	12.604	72.1	8.950	5802	100.001				57.782			
10002	10003	177-25-00	46-10-25	46-10-25	43.157	19-06	41.016	22.403	22.571	12.548	87.8	8.977	727	100.100							
10003	10004	180-00-28	46-38-05	46-38-05	42.082	20-18	45.036	30.767	32.770	12.578	131	9.042	288								
10004	10005	173-17-00	46-17-05	46-17-05	46.376	75-16	44.822	30.872	32.301	12.487	257	9.074	527								
10005	10006	170-02-00	47-00-25	47-00-25	44.085	75-13	42.527	29.008	31.115	12.458	251	9.105	704								
10006	10007	180-26-20	47-26-05	47-26-05	27.255	77-10	26.041	17.611	12.183	12.440	640	9.124	887								
10007	10008	125-17-20	27-26-05	7-13-15	45.580	74-00	44.080	43.717	6.598	12.376	723	9.117	337								
10008	10009	180-03-20	25-23-25	6-30-15	47.153	74-01	45.707	45.454	5.187	12.357	467	9.114	152								
10009	10010	170-19-00	25-20-25	6-18-55	25.677	76-24	24.877	24.430	2.624	12.307	037	9.111	470								
10010	10011	177-03-00	22-04-05	7-15-55	47.788	73-03	46.721	46.554	5.395	12.280	485	9.105	535								
10011	10012	180-22-20	23-02-05	6-51-35	42.073	70-22	47.662	47.201	5.673	12.233	164	9.077	842								
10012	10013	180-20-20	23-22-05	6-31-15	44.057	73-02	33.292	33.640	4.407	12.194	524	9.075	425								
10013	10014	180-57-20	23-26-05	6-13-15	36.250	77-57	34.770	34.027	3.796	12.160	495	9.072	107								
10014	10015	227-11-20	57-17-25	11-13-15	17.253	7-18	17.243	11.750	15.087	12.148	545	9.107	178								
10015	10016	206-53-20	73-20-05	73-10-03	45.402	7-42	45.322	12.000	43.576	12.135	665	9.150	714								
10016	10017	178-13-20	27-04-05	71-04-05	47.420	7-21	47.226	15.460	46.841	12.120	205	9.127	555								
10017	10018	185-17-00	27-02-05	77-02-05	33.420	7-30	33.417	7.102	32.654	12.117	103	9.230	207								
10018	10019	227-18-00	15-04-05	15-04-05	10.324	0-29	10.324	6.374	8.872	12.117	477	9.232	081								
10019	10020	227-37-00	15-06-25	14-03-15	6.878	7-06	6.877	6.573	1.733	12.126	070	9.240	814								
10020	10021	221-06-20	20-22-05	20-22-05	23.137	0-25	23.136	20.727	10.280	12.146	977	9.230	534								
10021	10022	228-20-00	47-52-05	47-52-05	48.973	27-07	45.237	45.073	3.899	12.101	724	9.234	322								
10022	10023	177-37-00	47-32-15	47-32-15	49.676	78-16	47.784	46.576	3.722	12.054	728	9.238	114								
10023	10024	208-28-20	23-07-05	13-00-05	8.687	75-08	8.739	7.001	5.577	12.047	727	9.242	663								
10024	10025	224-15-00	15-18-05	14-04-05	11.650	0-35	11.643	4.765	10.578	12.052	692	9.252	201								
10025	10026	231-57-00	17-01-15	0-48-35	14.817	7-33	14.814	4.637	2.217	12.067	371	9.255	470								
10026	10027	193-02-20	11-23-05	01-04-15	43.570	0-16	43.570	35.476	35.476	12.101	865	9.290	476								
10027	10028	183-51-20	13-05-05	14-10-15	44.207	0-35	44.205	22.777	22.777	12.134	757	9.320	476								
10028	10029	180-13-00	13-08-05	01-01-15	21.046	0-38	21.045	15.713	12.977	12.150	472	9.323	475								
10029	10030	182-22-00	10-27-05	07-12-15	9.951	7-17	9.747	7.673	6.773	12.142	432	9.326	807								

(10) 12.141.333 2.324.871
 (11) 12.142.432 2.326.807
 (12) 1099 (13) 2.438

圖名
 昭和 42 年 11 月 5 日測圖
 觀測者
 記號
 計算

实测1.2.3 相通檢討

5%

	俾距	結距	高程		
現在坑口	12606.05	2750.785	56.544 右邊橋樑=前矣(檢視)	21.12.16 新
新坑口	12604.721	2750.582	57.782 三田浦橋樑=前矣(檢視)	新
	1.294	0.203	1.238		
	892.971	492.566	146.27		
水尾地口	12605.401	2751.733	49.976 右邊=前矣(檢視)	18.7.23 (18)
新橋口	12604.721	2750.582	57.782 三田浦橋樑=前矣()	
	0.680	1.156	1.706		

成果表

观测点	测站点	水平角	方位角	四分方位	斜距—垂直角		水平距离		方位角		磁偏距	磁距	测点	高程		高差		备注
					斜距	垂直角	N	S	E	W				水准高	视高	水准高	高程(水准)	
					sin	cos								水准高	视高	水准高	高程(水准)	
1	2	60-40'	60-40'	180°34'	249.7148	61.000	28.009	54.89	12492.820	9326.151	+	12492.407	9326.491	0.492	0.340			
2	1	3-36'	3-36'	118°27'	118.27124	66.200	66.696	44.690	11827.124	9326.7839	-	11826.711	9326.179	0.492	0.340			
1	2	88-47'	88-47'	299°27'	249.7148	132.000	34.204	192.88	11827.124	9326.7839								
(五反田=角点1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100)										(水准=角点1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100)		(水准=角点1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100)						

水准=角点1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100

水准=角点1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100

记 事 (略)

测所名 _____

测 年 月 日 _____

测 者 _____

配 镜 _____

计 算 _____

水准=角点1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100

水准=角点1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100

日古二坑 炭量 計算表 (古町二坑炭坑浸堀)

區別	炭層名	山丈	炭丈	坑底	層底	平均積	噸數	噸率	針筒積	噸數	噸率	全量	噸數	實量
長 期 計 画	納結五尺層	2790	2660	15	2470	2721	26	26100	2200	7770	30	6770	80	6850
	下二尺層	1551	1481	13	1418	"	"	"	"	487	20	370	20	389
	土間八尺層	1894	1798	13	1764	"	"	"	"	7100	30	6100	30	6200
	油草八尺層	1718	1591	13	1497	"	"	"	"	6100	30	5420	30	5390
	計	8953	8532	54	7949	2721	26	26100	2200	27770	110	21250	110	21050
地 葉 宗	納結五尺層	2790	2660	16	2486	2720	26	26100	2200	7770	30	6720	30	6810
	下二尺層	1501	1481	16	1410	"	"	"	"	5100	30	4200	30	4300
	土間八尺層	1894	1794	16	1710	"	"	"	"	6100	30	5400	30	5500
	油草八尺層	1718	1572	16	1487	"	"	"	"	7420	30	6700	30	6790
	計	7913	7507	64	7093	2721	26	26100	2200	27070	110	21200	110	21100

1 山丈 炭丈 納結の区間 (納結) 1120
 2 土間 山丈 炭丈 土間の区間 (納結) 1120 炭層 5尺以上 5尺以下 炭層 5尺以上 5尺以下
 3 油草 山丈 炭丈 油草の区間 (納結) 1120 炭層 5尺以上 5尺以下 炭層 5尺以上 5尺以下
 浸堀 面積 16" x 16" = 256"



日吉二坑

品名	3300元		3500元		3600元		3700元		4000元		4200元		4400元	
	全	日	全	日	全	日	全	日	全	日	全	日	全	日
因是原	5777.125	5777	6777.125	6777	5777.125	5777	5777.125	5777	5777.125	5777	6777.125	6777	5777.125	5777
北州管	2968.125	2968	3219.125	3219	3320.125	3320	3460.125	3460	3500.125	3500	4042.125	4042	4283.125	4283
山天聖佰昔	2337.125	2337	2927.125	2927	16,287.125	2817	10,317.125	2717	10,527.125	2617	10,817.125	2517	11,017.125	2417
年代收入	1,056.125	1056	1224	1224	1224	1224	1224	1224	1224	1224	1224	1224	1224	1224
山天啟立	827.125	827	827	827	827	827	827	827	827	827	827	827	827	827
			100%		100%		100%		100%		100%		100%	

出是元款件	2000元	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000	8500
生理原日	878.125	878	978.125	978	1078.125	1078	1178.125	1178	1278.125	1278	1378.125	1378	1478.125	1478
元日原日	408.125	408	412	412	412	412	412	412	412	412	412	412	412	412
元日原日	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170
年代收入	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320
山天啟立	580	580	580	580	580	580	580	580	580	580	580	580	580	580



右の下の図

浸透面積

$$180 \times 15^m = 2700^m^2$$

$$c = 2.0 \quad 1.2^m$$

$$T = 2 \quad 0.8$$

$$D = 2 \quad 1.8$$

$$\text{透入} \quad 1.2$$

$$4 \quad 50^m \times 1.3 = 65^m^2$$

$$\frac{65^m^2 \times 2700^m^2 = 175500^m^4 \div 15,000^m^2}{\frac{15,000}{7,500,000}}$$

透入の割合

水場割合 (排水率)

20% 浸透

$$15,000^m^2 = 0.545 \text{月} (4,000^m^2 / \text{月} \times 2.2)$$

右の指定面積計算

$$182 \times 15 = 2730^m^2$$

日吉二坑

1%

项目	3300千		3500千		3600千		3800千		4000千		4200千		4400千	
	金額	千石	金額	千石	金額	千石	金額	千石	金額	千石	金額	千石		
固定費	5777.850	174	5777.850	165	5777.850	165	5777.850	162	5777.850	144	5777.850	135	5777.850	113
比例費	2960.000	120	4200.000	120	4320.000	120	4560.000	120	4800.000	120	5040.000	120	5280.000	110
山元原備費	2337.000	294	2277.000	281	10,897.000	281	10,337.000	272	10,577.000	254	10,817.000	258	11,057.000	251
炭代收入	10,866.000	220			220		220		220		220		220	220
山元収益	823.000	247			247		247		247		247		247	247
			100%		100%		81%		76%		67%		62%	
出炭総数	2000千	2500	3000	3500	4000	5000	6000	7000	8000	9000	10,000			
生産原価	8170.000	5770.000	2770.000	2970.000	10,570.000	11770.000	12970.000	14170.000	15370.000	16570.000	17770.000			
炭代原価	4085	3570	3120	2850	2640	2350	2160	2020	1920	1840	1777			
炭代原価率	50%	280	271	210	270	190	140	100	80	63				
炭代收入	3200	3200	3200	3200	3200	3200	3200	3200	3200	3200	3200			
山元収益	880	310	80	350	360	860	1090	1180	1280	1360	1423			

日吉二坑
古河下山田炭坑

三角量坑里表
坑区成果表
坑区许可图

坑内图
坑内测量成果表
古河下山田煤子田



日吉=坑の近接古洞状況調査について

ネリノジ 梅本 〇 昭和12

④ 日吉=坑変更証書案提出

昭和41年7月22日 飯塚石炭事務所
41. 9. 2 福岡県庁役所

蓋状

⑤ 右=坑古洞建着

昭和42年10月30日 土間入穴右=坑 (飯塚標高前約15m)

⑥ 古洞状況の指示経過

- 昭和41年3月7日……右区域の近接古洞問題、右=坑は存在せず、従って右=坑の掘削と変更証書案を提出
昭和41年10月24日……右洞は存在せず。
- 昭和41年11月7日……飯塚保安監督署 宇藏寺副長と土着にて統合探査検査
地帯古洞関係と調査し、地蔵家と記載の古洞=穴を指摘
- 昭和41年11月14日……事情を説明し御指示と求めたこと
飯塚五ノ穴、下ノ穴、土間入穴、沼澤△穴、(15m) 飯塚標高の新たな探検古洞開示判明
- 昭和42年11月8日……昭和42.10.30 右=坑古洞建着のこと
坑内調査測量成果を提出し、本件について検討調査の可否の御回答と御稟文
(右=坑) 甲斐の会測量所による古洞位置の確認、現場状況の調査確認と取柄
- 昭和42年12月1日……貴所、測量部長へ入地現場状況の確認が行われた。
- 昭和42年4月11日

古河松葉株式会社

下山田事務所

部長 小林一雄殿

総務部長 廣田昭彦様

鹿田 春彦 様

昭和 40 年 11 月

古河松葉株式会社

下山田事務所

〒130 東京都葛飾区

新小岩 1-1-1

電話 562-1111

電報 松葉 1111

代表取締役社長

小林 一雄 様

敬啓

拝啓

秋 吉川 茂明

坑内採掘回=関(書類)

謹啓 昨下陽春、候貴社並々御清栄、度慶賀
至極に存じます。

陳者当鉱儀、貴社の隣接として、向付の御庇護も蒙り、
何時も深く感謝に居ります。

扱、現在当鉱、日吉二坑、深部新規採掘区域(旧田原
ガカ崎断層の間、日吉一坑、旧年の採掘地)について、採掘関係
実態中、今、日吉二坑、採掘区域、該採掘区域の
隣接鉱区、採掘(古河)状況、及その台湖水等について
再確認し、精査し、その対策を樹立する旨、指示を受け
ました。茲に、貴社にお願、ご照会、本件について
貴社の採掘状況、及鉱区線、放棄表等、何れも御指掌
受かなく、当鉱係員も出向させ、御査察、詳細に亘り
御指示、上、本件に関し、図面、及放棄表の、謄写を
御許可下さい。尚、書類、致します。

又本件について、対策等、御指掌を、貴社、御願、申
上げます。

敬具

古河松葉株式会社 下山田事務所 代表取締役社長 秋吉川茂明

古河鉱業株式会社
下田鉱業所

所長 小林 一雄 殿

昭和41年11月14日

大同石炭鉱業株式会社

日吉鉱業所

所長 山崎 久慈

宛内採掘団にお願ひ

謹啓 ^様 昨年初冬の候 貴社益の御着察の段 御座極に
なします

陳者当鉱業貴社の隣地として何やかと御注意を蒙りまして
何時も深く感謝して居ります

扱マ 現在当鉱の日吉=宛の埋部新規採掘区域(日吉新ア
グニカ場新アノ岡=日吉=宛の旧本卸埋部地)に於て鋭意
開採を実施中ですが 今回新潟保安監督局より総合検査(昭和
41.10.17~23日)時及その追跡検査(昭和41.11.7~10)実施され その結
果、該採掘区域の隣地採掘区(古河)秋刈及その古河水等
について精査し、その対策を11月18日迄立案提出するよう指示を受
けましたので、甚だ感蒙り致す所ですが 本件に於て貴社の採掘
状況等、何れも御注意を蒙りたく、当鉱係員を差向させますので
宜敷詳細の區り御指示の上、採掘係の結存、御許可とい
ますようお願い致します。

又本件について御抱考等並にお願ひ申し上げます。

1942. 11. 8日(水) 正午へ

吉河下川 田舎事務所 小林所長 面談(裏山用信務視察
直上)

吉河下川 小林所長
日吉 山崎 伴長 合上

時日 2枚の右3片 送電 右河下川田舎事務所 吉河へ
要道へつた

日吉 2枚の 掘削説明

境内 案内図 提出 (社)

調査結果表 (表2)

R3片の送電へおつた 吉河 送電へつた

1942. 11月1日(土) 正午おつた

小林所長 車送

日吉、山崎、田舎所長 合上

先月申請の件

現在三菱上川田舎事務所 華泰園との合償

(約5000円)の鉄田内屋外4ヶ所の電柱の多化?

そのうち2ヶ所の調査はしてあるが、残り2ヶ所は

車道一本に右の電柱が立っている

1942年11月1日付の案内図、旧境内の田舎事務所

の位置、自前の調査結果表の上の昔の案内図は

使用済み

2ヶ所の調査は前回の案内図を

基に、そのうち2ヶ所は、特に分信の調査

は、そのうち2ヶ所は、調査済み

終了間際には現場の記録(5ヶ所の調査の位

の)の車記入

調査はしてある

然し、車道一本に右の電柱が立っている

案内図の上の案内図を、車道一本に右の電柱が

立っている

以上の案内図の旧案内図の調査は、前回の

調査の結果に、調査済み

は、そのうち2ヶ所は、大野の調査済み、調査済み

今回の調査は、調査済み、調査済み

調査済み、調査済み、調査済み

1. 調査は、車道一本に右の電柱が

立っている

2. 調査は、調査済み、調査済み

調査済み、調査済み、調査済み

了

42. 12. 30(日) 午前 8:45頃

古河山下田巻橋 鷹取測量隊出張

2. 日吉二地 右三ヶ所に道明進(経緯)のり

1. 出目山林所長の草刈り全園の予定ありて
測量は12.30の21:00頃、右の音沙汰(24.00)
如信の誘へり
2. 一畑の計測の事務命令せしむる
測量隊長の事務所にて

3. 又河橋の2ヶ所の詳細を20分間に測定する

4. 何ヶ所の林少の2000坪位の所を測量して
角巻(現況計画)主要(16ヶ所)の20ヶ所の
古河に49ヶ所を測定する

5. 現況の供出の管理上 自産(方針)の予定ありて
早急の予定を整理して送る

6. 測量の記録簿を整理して送る

7. 現場の切込の理由の整理の予定
予定の整理、事務の整理の予定ありて、
早くの予定を整理して

8. 事件の整理 解決の予定と早急の予定
測量の記録簿の整理

9. 現場と古河内野の

42. 12. 1. (金) 午前 9:45' - 11:30'

古河山下田巻橋 鷹取測量隊
日吉 出張命令

1. 測量の予定ありて 諸河測量隊長の予定ありて
測量は12.30の21:00頃、右の音沙汰(24.00)
古河に49ヶ所を測定する
測量隊長の事務所にて

2. 古河下の測量の予定ありて

(1) 現場の古河下の測量の予定ありて

(2) 古河下の測量の予定ありて

(3) 古河下の測量の予定ありて

(4) 測量の予定ありて
現場の整理と現場の整理
測量の整理と現場の整理

(5) 現場の整理と現場の整理

(6) 現場の整理と現場の整理

3. 仔倉上の内証

517水
排水量(総水)を知らねばならぬ

4. 日量 = 吐り様を把握し、及び影響

5. 大井 古河下山田幸儀にともしたての
排水

6. 日量 = 校がゆるく人

42. 12. 2日(土) 南信連絡
古河下山田幸儀 高取野電法

古河野電(幸儀所)の排水量

通常 52トン/日 14% μ m

雨期 22-23トン/日 8.8% μ m

野の排水量

現場係(岩村)の排水量、および排水量の割合

効力に排水機

この野の排水量は、大井から取られる

排水機 23トン/日

本井の排水量は、大井野電の方で、排水機(12%)
の排水量より出る。

今、大井野電の排水機は、排水機が動かす。

排水機は、排水機と排水機の間には、排水機
がない。

日量排水機は、排水機は、排水機
(排水機は、排水機)



41. 12. 6 (木)

↑名/10坪 厚紙 腐敗物処理場へ
会期中にこの場を借り、後部管理棟に3台入
りようの依頼 (未着手)

施設として 古河下田倉敷 腐敗物処理場のFAC

今期山崎建設の指示により、双方稼働時の都合、
FACの2ヶ所併用は目前の計画では考慮外
とし、倉庫の内2ヶ所の間にFACを設置
とし、水栓等の調整も調査し、指示に従って
早期の完成を目的に、FACの今後交渉の方向
を探る。

- 1. 早速直営所業の報告に、都合よく指示を出す。
- 2. 明確に直営所業の指示を、FACの稼働に反映させる。

- 1. 早速FACの2ヶ所併用の問題については現場で左部稼働
席間(10ヶ所)の稼働に
2. 直営所業の調整の確保と、FACの稼働に
3. 直営所業の調整の確保と、FACの稼働に

42. 12. 8 (金)

10:11 - 11:30
古河下田倉敷 腐敗物処理場
FAC 倉庫(事務所)へ

FAC(事務所)稼働時のFAC、早急な準備を検討する。
越境の存在の有無はFAC稼働時のFAC、この問題の解決
はFAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC
FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC

FAC稼働時のFAC

10:45 - 11:45 FAC稼働時のFAC

FAC

- 1. FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC
- 2. FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC
→ FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC
FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC
FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC

外へFAC稼働時のFAC

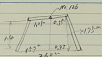
- 1. FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC
- 2. FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC

入校機

- 1. FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC
- 2. FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC
- 3. FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC
- 4. FAC稼働時のFAC、FAC稼働時のFAC



日方=林 R3片時 右側水送巴區内



中	2.6+11	右側	0.35
		左側	0.15
高	2.6+11	右側	1.25
		左側	1.16
渠	2.6+11	右側	0.66
		左側	0.55

平均断面内



42. 12. 第(五) 1942. 11. 20
木柱断面内 小林城
日方 山崎所長 令々

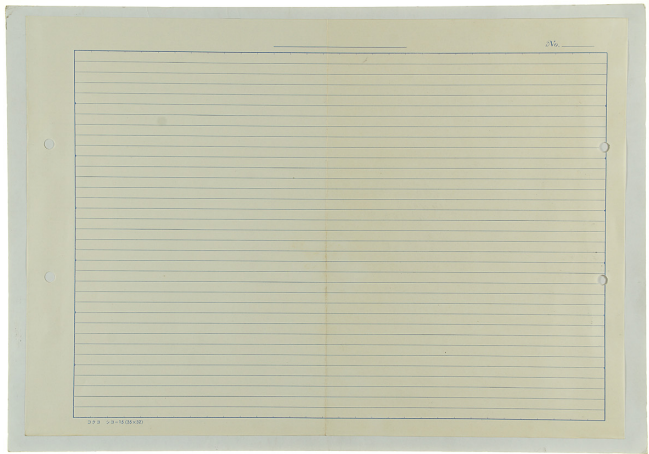
1. 右側下山面高鉄=檢乙作高=1000分1111内面下
挿入!

{ 日方=1942年12月20日記入時
昨口日方=此日記入時。右側踏込(高鉄断面内)
40. 12. 11 記入

↑ R. 1, R. 2 2段壁17. 17. 3 2段壁17. 17. 3 (中央に木柱)
壁17. 17. 3 方下壁17. 3 (壁17. 17. 3 壁17. 17. 3)
右側R. 2 2段壁(55. 17. 3) 日方部2段
40. 12. 11 壁17. 17. 3 壁17. 17. 3 (鉄口部17. 17. 3)
20. 12. 11 壁17. 17. 3 壁17. 17. 3

踏込部は土質より下。下部R. 2 2段壁17. 17. 3
4段。下=2段壁17. 17. 3
下=2段壁17. 17. 3 壁17. 17. 3 壁17. 17. 3
下部R. 2 2段壁17. 17. 3 壁17. 17. 3 壁17. 17. 3
20. 12. 11 壁17. 17. 3 壁17. 17. 3 壁17. 17. 3
右側R. 2 2段壁17. 17. 3 壁17. 17. 3 壁17. 17. 3
木柱断面内 壁17. 17. 3
20. 12. 11 壁17. 17. 3 壁17. 17. 3 壁17. 17. 3
壁17. 17. 3

森田氏、香野氏時々の挿入=思ふ



古河下山田英統と共同目吉英統の
東横地区南法4712

昭和12年11月20日 4地区東横増区(古河小山田英統の)
ついで公正契約締結

昭和12年11月20日 上記契約の基に、福岡道南東横高
坑道増区の出発地を、

昭和13年11月17日 上記出発地を許可不承認を、

昭和20年11月16日 公正契約の基に、坑道増区の期間
満了

期間延長を請求し提出は既成を、

但し目吉三坑の持手中の67077の坑道通過

の放棄を提出し、その坑道通過を許可せず、

昭和22年11月16日迄の契約

再此 昭和22年11月16日迄許可

昭和22年4月28日 目吉三坑 廢坑
福岡道南東横高坑道

昭和22年5月23日 古河下山田英統と共同
上記廢坑(2坑)有也

昭和20年9月6日 上記坑道増区已廃、坑道出発地を
福岡道南東横高に提出

昭和21年3月31日 上記減区出発地を許可不承認

上述の減区に双方(下山田英統、目吉英統)共

減区を、従って、双方の東横増区を解消

し、東横を、

古河鉱業株式会社
下山田鉱業所 所長 小林一雄殿

昭和43年3月4日

早川石炭鉱業株式会社
日台鉱業所 所長 吉川茂明

日台二坑区域の貴所古洞についての申入書

謹啓

日増しに甚近と見わたせる折から御社は、益々御産出の段々から御喜ば申上はす。当所も曩し石炭産量の趨勢下に踏まれた炭田と区域に於て鋭意努力を払つて居る現状であります。

従つて昭和41年より当所日台二坑は日台断層部区域の採掘終了に伴、断層部即ち新区域に採掘を移行すべく洞窟開発を実施し断層部より右部へは懸崖掘進を展開中、土間入尺も右二坑に於て(鉱区線前約15%)昭和42年10月30日手取せざる採掘古洞に達し了りした次第であります。

当区域は開発計画立案時、右部は貴所に鉱区線と共にするが、該区域の採掘計画及び採掘上、保安上事柄に古洞状況に調査すは必要があり又変更採掘案を提出する上のも重要なため、貴所の古洞の御指示を事前(昭和41年3月)御願ひした経緯があります。是時提示された箇面には、当区域の北端には問題なる古洞は存在せず、従つて地通り箇面で見直し採掘案の認可(昭和41年9月2日)と受けて開発中たはたは当時で、御殿長御監査官、空堀斗副社長と主として総合保安検査会、昭和41年11月7日行はれました。その折日台二坑の近接古洞箇所を調査し、地質学常識の古洞の線りや指図され、当方採掘上都合の悪い古洞を有略して居るが如くに判断され、早急に貴所に於て再調査する様には指示され、当所としては全く面目なく貴所の御指示に和進に承認したのであります。

従つて昭和41年11月14日貴所に事情を説明し、当所の今後の採掘上には極めて重大な問題と成りましたので、真実の現場実測図及び別量減算表の御指示を求めましたところ、竊端並尺、下入尺土間入尺、海軍入尺の4層にわたり鉱区線迄の新たな採掘古洞が判明し、更に加えて保安上極めて重大な水没古洞が確認された次第であり、此の事實に於ては真に残念と存しますが、貴所の結果発表を認む

るを得ませぬ。今にして考えますと西鉄区域の侵蝕をこの竟極的の判断からしるの思考せざるを得ません。

本工事採掘の下に日台二坑採掘は大中、採掘計画区域が漸くしかし出水指定等による採掘上の制約が加わり採掘計画の根本的な変更を余儀なくされ、日台二坑の採掘西面は大中に低下し日台鉱業所全体採掘に達せぬと重大影響を与へたのであります。

其の後前記の採掘上の極めて重大な問題を抱かされたなか、大平炭鉱の貴所のことと存しますので今後絶対に回避しは無いと信頼し、又当所として自主的にその開發発展を期し、近接し同一問題の起ることは絶対に無いと確信し採掘を継続してまいりましたところ、貴所採掘古洞に達着し、即ち不詳事件より日台二坑採掘の一大挫折を招き日台全体採掘にとつて極めて重大な問題となつたのであります。然つてこの旨速急に昭和42年11月8日貴所に、往々境内調査測量結果を提出し、本件について検討調査せられ今後の御指示を御願ひ致しました。その後の経過としては御承知の如く、当所より早急に立会測量等による古洞位置の確認、現場状況の調査確認を要請し、12月1日貴所調査係長が入境現場状況の確認が行はれ、貴所より大方の侵蝕予想範圍の提示がありました。本問題を如何に処理すべし等の具体的な問題に就いては未だ全然ふくれぬが甚だ遺憾に思ふ次第であります。

其の後、貴所に於ては調査確認致しましたところ右二坑部(2-3号内)に於て同一古洞を確認し、深部右面見直し古洞集の極つて顕著な湧水と確認し採掘を中止して、まず、更に採掘区域は未だボーリング等による完全確認に到していませんが総合的に判断し可成りな侵蝕区域が予想される状態にあります。

かかる状態の下に於ける日台二坑の採掘は侵蝕古洞の拡大により採掘は極度に北へ傾向にあり、出水量、月産計画4,000割り11月4-21日、12月26日、1月29日、2月22日、3月9日想2,000割りを示す様に現在坑内煤材の變化は甚だしく、保安上並、労働使用の不安定な増大により生産、保安、労働経営の各面に極めて重大な事態に立到つています。

本中に就きまして、当所としましては

1. 大寺の尾門、古河鉱業が当該の如く中小炭坑の区域に侵蝕し、然し区域が明示されていないことは貴府間における違義に反するものであり、修正を許さない問題と考えます。

2. 保安監督局の指摘により事前に水没採掘区域が確認された事故に及ぶたつたが右の指摘が厳しく先の貴府御指示の如く古河を以て考え採掘が進んでいたならばと考えて、保安上、道義上極めて重大な問題であつたはずでありました。兎に近接古河の新たばね増加により採掘計画の根本的の変更を余儀なくせし、二坑の採掘傾斜は勾輪、両方全体採掘に定規して重大な影響を与えました。

3. 日吉=坑の右=丸の古河遺着は幸ひにしてガス及び出水等の現象が甚しく人命に影響がなかつたがたゞ、災害の発生を想起するに極めて重大な問題であり、是れだけでは済まぬ問題であるとして銘記に載せたいものであります。

4. 本件の関連する保安上の問題は労働者に対する影響極めて大であり、保安上の不安要素、使用向の不信任が増大し、これを突証する如く、近接者が此の後多量に又入坑者も減つて行つて居る現状であります。

5. 当所の鉱務組合とこの件には重大関心を示し、保安上のつとめ組合員が不安感解消の爲に侵蝕区域の早急な増設及び古河の取崩、水没採掘、揚水等と費用の対に着意し、中入の採掘に現地の中入を受け、此の対策を考慮して、状態であります。

6. 貴府の侵蝕区域が不明確であることは各所に於て相対的の採掘方針が立てられ、又、当所の総合的判断より採掘区域は相当を侵蝕が予想される。更に排水基準に採掘が移行する場合は、保安上重大な問題があるを、絶対に保安上の安全対策を徹底しなればなりません。かように日吉=坑の採掘は侵蝕区域の拡大により範囲條件の悪化による採掘上並に保安上全面的に計画を再検討せざるを得ない状態に達して居るものと見ます。

以上を以て、当所の如く中小炭坑については予期せざる貴府側の侵蝕により採掘区域が減少し相俟つて今後の採掘上極めて重大な問題と考へて居ります。

7. 日吉=坑は有様採掘の主力炭坑で、従来採掘に有利な坑内採掘の下に日吉鉱務所全体採掘に非常に大なる役割を果して居り、したが、昭和22年12月以降出炭推移の示す如く現状が、これ

完全に採算性と衰失しつゝあり、本件は單に日吉=坑採掘の問題のみにとまらず日吉全体採掘上極めて重大な問題を視認して居ります。

上述の如く本件の侵蝕ということだけにとり問題であるが、当所にとっては「性質上の侵蝕」といふ問題だけでなく、当所内の系統に連結する問題としてあり従つて総合的な採算確保を要求せざるを得ない考へます。現実の厳しい石炭産業の下における中小炭坑の突路を判断して貰へれば、当方の中入の妥協性は充分に御理解願ひたいものと認考致します。

以上御厚察の上誠意ある何卒の御回答を賜ひ、ここに書面を以て正式に中入を致しませう。

器具

高橋秀の局に申述べます。

1. 貴府の古河古河区域は往時再社の合理的開発と目的として断つて境には併社と確定し、是れを区域毎、方式、掘進増進令、当所採掘区域であり、したが、全然本採掘区域の採掘区域に区域であります。当時採掘区域は日吉=坑より開采の原、本、樹立の掘進が鋭意突進し土間入に着発し、土間並に中入の採掘と採掘中であり、したが、大東産出の最中、開采より増産の必要と認められ、採掘区域の採掘対象の中と全個をこれ一箇中と見直し、掘進設備に貴社に契約期間の延長を懇請しましたが、拒否されることとなり、昭和22年11月迄の土間並に至つた区域であります。

此の開採区域と区域の侵蝕であるが、行に高河遺着に及ぶたつたが、

2. 本件に就ては、福国産産重局、石炭部、炭業課、採掘課、保安課等を含む、及び福国産産重局、保安課等も承知して居ります。

3. 本件、就ては、明確に貴所に中入を行ひ、翌月12月一たび、侵蝕と認められたが、何等具体策を突進され、又関係者より反々、侵蝕を主張提出の助言がありました。貴府間の交渉を中入の貴府の立場に考慮し、入坑、中入の回答は、是れを以て経過したものであり、したが、当所全体採掘上の影響を判断し、止むを得ない採算と中入を共に放棄する御回答を賜ひ、誠に遺憾な御説明申し述べ、

日吉=地

申入書

古河鎮東門外會社

四〇〇九號 9

下山田村會社 所屬山林一棟 畝

古河石炭會社株式會社

自來水會社 所屬 吉川 井明

附屬區域の首所 古河川の29申入處

謹啓

日増しに甚なる古河川の折廻り、即此の地、甚く山邊、
地、此の地、多量の中、(其の地)

古河川、最近、古河川、越後下地、此の地、甚く
注流、折廻り、甚く、地、此の地、
此の地、此の地、

此の地、(其の地) 古河川、折廻り、古河川、
此の地、折廻り、古河川、折廻り、古河川、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、

古河川、折廻り、古河川、折廻り、古河川、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、

古河川、折廻り、古河川、折廻り、古河川、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、

古河川、折廻り、古河川、折廻り、古河川、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、

古河川、折廻り、古河川、折廻り、古河川、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、

古河川、折廻り、古河川、折廻り、古河川、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、
折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、折廻り、

又、日本二強、在二戰時對遠東太平洋之影響、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、

其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、

其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、

其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、
其影響之深刻、無可令人令人、影響之深刻、

上述の如く誤謬を以てしての關及は不可なり、
此の如くは確實の誤謬といふ關係は有り、
此の如くは當分の原案が通略の如くあり
従て綜合的也

按て此の原案は、
又此の原案は、
中、先づ内容に對して、
此の原案は、
以上、原案の上級意、
高の之を以て、

たのまひき。あつたつた。何事も仕業に花結
す。又問信官たつた。是々衆等も。皆其地也。
如まつたつた。物も。口管。堂内。信異。衆は
大なる。老新。古も。序意。入。何今。回答。す。は
か。信。の。新。つ。解。女。経。月。の。信。造。は。し。の。つ。た。の。
か。を。欲。今。作。法。量。の。別。等。者。並。し。信。對。法。の。つ。
並。最。事。法。の。信。造。の。也。并。は。能。は。者。の。当。然。
の。兵。務。行。行。に。對。は。ん。聖。の。能。明。は。法。

古河下山田館

慢掘面積

$$180 \text{ m} \times 15 \text{ m} = 2,700 \text{ m}^2$$

掘削深さ 1.2 m

土厚 0.8

土層入深さ 1.0

掘削入深さ 1.2

$$\text{計} \quad 5.0 \text{ m} \times 1.1 = 6.5 \text{ m}$$

$$6.5 \text{ m} \times 2,700 \text{ m}^2 = 17,550 \text{ m}^3 \approx 15,000 \text{ m}^3$$
$$\begin{array}{r} \times 500 \\ \hline 7,500,000 \end{array}$$

先進掘削費

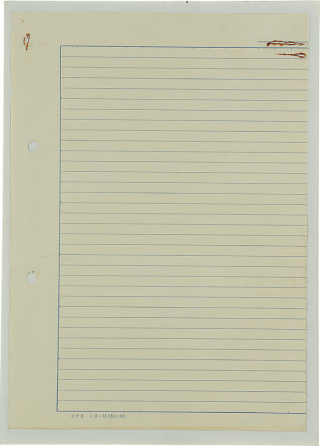
水揚り金 (排水費)

坑口収益

$$15,000 \text{ m}^3 - \text{約} 4 \text{ 万} (4,000 \text{ m}^3 / \text{日} \times 10)$$

古掘削之面積計算

$$182 \times 15 = 2,730 \text{ m}^2$$



法政内政の及る所

長州の政
金田五郎 記す所

法政の内政を並べ置る所

1. 法政の普及と関係あり。
 此の如く法政の普及
 金田五郎の記す所
2. 法政の理由を辨べ置る所。此の如く
 法政の理由を辨べ置る所。此の如く
 法政の理由を辨べ置る所。此の如く
 法政の理由を辨べ置る所。此の如く
 法政の理由を辨べ置る所。此の如く
3. 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
4. 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
5. 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
6. 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く
 法政の普及と関係あり。此の如く

検査手帳の作り方

1. 使役の部

男子の用紙の用紙と女子の用紙の用紙

用紙の用紙の用紙の用紙

用紙の用紙の用紙の用紙

2. 男子の用紙の用紙の用紙

男子の用紙の用紙の用紙

男子の用紙の用紙の用紙

男子の用紙の用紙の用紙

男子の用紙の用紙の用紙

3. 女子の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

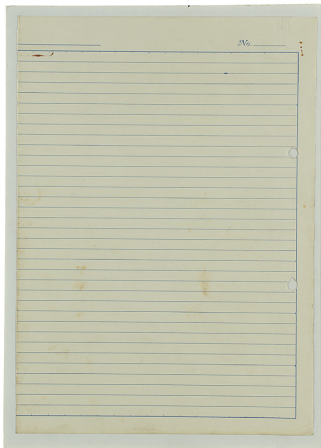
女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙

女子の用紙の用紙の用紙





说明	注意
本册的编排	上下
编排	编排
编排	编排
编排	编排

说明与注意：本册的编排与上册有所不同

编排的①、②、③

编排

1. 编排的①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿

2. 编排的①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿

编排的①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿

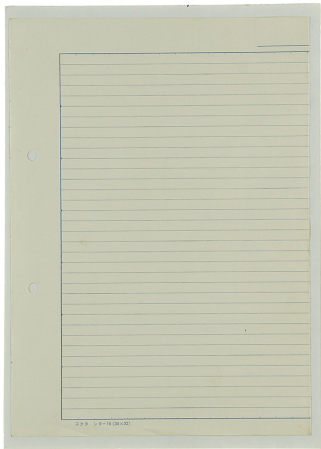
编排的①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿

编排的①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿

编排的①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿

编排的①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿

编排



229 1/2-14 (34x32)

古下座 第三八号

昭和廿八年五月十一日

二部

古河鉱業株式会社
下山田 鉱務所 監



共河石炭鉱業株式会社
日吉 鉱務所 長 殿



御進地区契約関係図面に關する件

先般拝受致しました貴御進地区契約期間延長申請書につき関係
添付図面を殿き度く本日昇井上測量係長を差向けますれば何卒
よろしく御願ひ申上げます

十三日下山田 鉱務所 長 上 宛の附本件ノ説明用ニシテ 上

十四日の附送届付ニシテ 上

左記関係図面
関係図面ニシテ 上 宛
各層別ニシテ 上 宛
様式ノ寸法等も入付申上る





昭和二十八年七月三日

日吉 飯 集 所

編 社 長
東 京 本 社 御 中
九 州 本 部

吉 河 下 山 田 辰 雄 飯 集 所 長 御 中 行 々

本年十一月ヲ以テ飯区ノ期間満了ト相成リ其約滿後ノ為期満迄
貴方顯出テ申候地別飯ノ通り米状ニ接シ候
依テ吉河東京本社ニ飯額ノ公費之有ル事ト存ジ供出御報告申上
候也

右

共同右秋飯集株式會社日吉飯集所

編 集 所 長 御 中 行 々
電 報 掛 號 一 一 〇 〇 〇



控

洋

共

古下座第九〇号

昭和二十八年六月三十日

古河鉱業株式会社下山田鉱業所

所長 安 岡 虎 喜

共同石炭鉱業株式会社日吉鉱業所 殿

瀬田増区契約範囲に関する件

昭和十二年に貴社古河側に隣接しました日吉鉱域、下山田炭坑用者鉱区相万瀬田増区に關する契約について、先般貴社よりその範囲長方の御甲入れがありましたので早速本店に可否を問合せました処、契約書第六條第一号に關關満了の際に該地区部分を相互に無償で相手方に返還すべきことを定めているに止り範囲延長に關する何等の条項も見出されないので、御趣旨に應じかねる旨の回答がありましたので、不承御承下さる様御願ひ致します。

以 上

共同石炭鉱業株式会社日吉鉱業所

瀬田増区事務所
電話大目一一一五 郵便局〇〇

福建增区契約期間延期申請書

共同石灰工業株式会社



瀬進増区契約期間延期申請書

昭和拾貳年拾壹月貳拾日付を以て御社と貴社の間に公正契約を締結されました竊取法第參拾六条（現竊取法第四拾六条）による瀬進増区の契約期間は昭和貳拾八年拾壹月拾六日を以て期間満了となりますが、増区区域の竹藪八尺上層、竹藪八尺本層は現在葺行中で、その他の炭層は左記の理由で未採掘の状態でありましたが、昭和貳拾七年六月に一坑の復旧工事に着手し未採掘区域の採掘を開始する計画であります。

此の様な事情を御斟酌下さいまして、瀬進増区区域の採掘期間の延期を御承認下さいます様御願申上ります。

記

一、瀬進増区区域の炭層名

竹藪八尺上層	Fマ八尺層
竹藪八尺本層	海軍八尺層
砂谷五尺層	
間參尺層	
コウモリ五尺層	

一、延期理由

福浦増区区域の竹藪八尺上層、竹藪八尺本層は三塚に於て、本師保安炭柱を残し全部採掘終了しましたが現在増区域外の深部地区を採掘中であります。従つて本師保安炭柱採掘時期は該地区の採掘終了後に当る即ち三塚終焉後に本師保安炭柱の採掘を致す計圖であります。

杉谷五尺層、岡三尺層は昭和拾九年九月迄に採掘終了致しました、コウモリ五尺層、Fマ八尺層、海軍八尺層に於ては昭和拾七年拾月以降に休止中の一塚本師新層端を開始拾八年貳月コウモリ五尺層に着床し更に下部Fマ八尺層、海軍八尺層に對して岩切地道を相達し拾九年六月に着床しましたが、該地区のコウモリ五尺層、Fマ八尺層、海軍八尺層はFシ買入の影響で掘石化し丁度大規模採掘の最中で、掘石、無煙の採掘は適かば有煙採掘に切替へよとの戦時非常特別増産法の命令で該地区の採掘を中止しその労働者、資材を才田地区（当時三井煤山より譲受）の竹藪八尺層に転用し止むなきに至りました。當時一塚に於ては他に岡三尺層を採掘して居りましたが、該炭層は炭丈薄く産額低でありましたので、全時に採掘を中止し竹藪八尺層に、炭用命令を在職使から命ぜられまして、昭和拾九年九月に休職の止むなきに致りました。昭和貳拾年八月終戦となり以降は労働者、設備等の事情で休止の状態にありましたが昭和貳拾七年六月より一塚復旧工事に着手致しまして本採掘区域の採掘計画を再始致して居ります。

一、福浦増区延期期間

昭和貳拾七年拾壹月拾六日より同月同 八三年

昭和貳拾七年拾壹月拾日

東京都中央区溝町壱丁目拾壹番地

共同石炭鉱業株式会社

取締役社長 入 交 太 殿

福岡縣嘉穂郡御前町大字才田貳貳六ノ壹番地

共同石炭鉱業株式会社日吉支店所

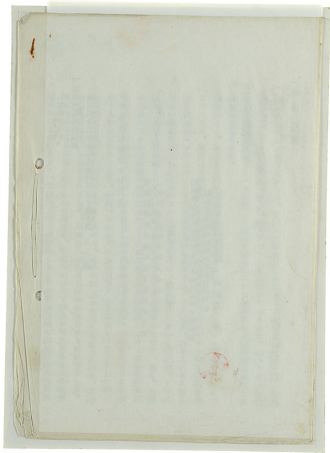
社長 取 代 役 所 長 平 佐 見 殿



共同石炭鉱業株式会社

下田山田支店所 所長 伊 東 孝 吉 殿





昭和十二年十月三十日
〇通

坑道通過願書

昭和十二年十月三十日付を以て御社と當社之間に公正契約
を締結致し、右飲業法第三十六條（現飲業法第四十
六條）による掘進増進区域内に昭和十五年二月、日吉三坑を開
坑し、幸り大田村坑道を横穿し、竹藪（又上層）合本層に至
致し居り、^{（たか）}右掘進増進区域内に掘進を認め、
採掘中、現在、右掘進増進区域内の掘進に際し、
右掘進増進区域内の掘進に際し、

昭和十二年十月三十日

昭和十二年十月三十日
日吉 業所



高橋 富雄 高橋 富雄 町 才 田
日 吉 鎮 業 所
三 一 三 日 一 九 〇 年

増田契約期間は本年十月十六日をもって期間満了

このころより^カ上^カの^カ黄^カ飲^カ区内より^カ本^カ城^カ内^カは^カ前^カ中^カ

増本卸^カは左^カ二^カ片^カの^カ運^カ搬^カ杭^カ道^カを^カ設^カ定^カし^カあ^カら^カす^カ(^カ利^カ國^カ手^カ)

南^カ保^カ上^カ迄^カ杭^カ道^カを^カ設^カ定^カし^カあ^カら^カす^カ日^カ吉^カ三^カ坑^カの^カ操^カ行^カ開^カ業^カと^カす^カ

何^カ平^カ方^カの^カ事^カ務^カに^カ御^カ裁^カ断^カ下^カさ^カら^カし^カて^カ別^カ紙^カ圖^カ面^カ図^カ

示^カの^カ杭^カ道^カ通^カ過^カ御^カ承^カ認^カ事^カ務^カ下^カさ^カら^カし^カて^カ候^カ仰^カ願^カ

申^カ上^カま^カい^カ。

昭和 年 月 日

昭和二十八年九月

昭和二十八年九月

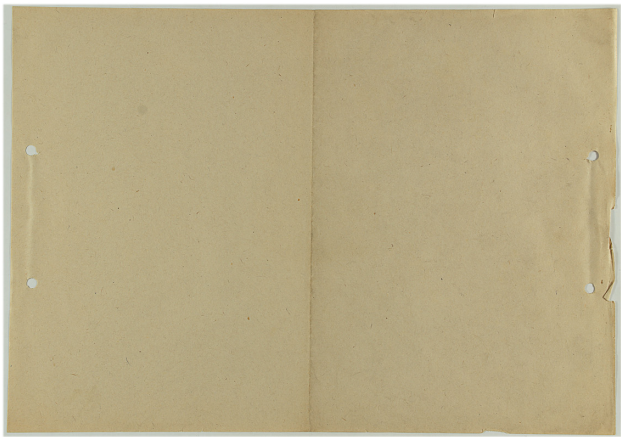
東京市中央区銀座七丁目五番地
鉄業携若 共同石炭鉄業株式會社
取締役社長 入交 大 光

古河原炭鉄業株式會社
取締役社長 新海 英一 啓

昭和二十八年九月
鐵業株式會社
日 吉 鐵 業 所

東京市中央区銀座七丁目五番地
鐵業株式會社
日 吉 鐵 業 所





福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭
鋳業株式会社

日吉鋳業所

電話 稲築四三〇番
大隈一一番

昭和 年 月 日

古河下山田炭坑

二坑

古洞園

古河下山田炭坑
石炭層の化石

日吉二坑深部区域

隣接鉱区
古河下山田

採掘に於ける実測成果表

56.4.11 別紙古河下山田鉱区
(场内採掘回内(水観))提出
会々量に於ける実測量(表)を参考

時 金子運長、萩尾

鉱区境界対照

	日吉	古河	
境界目録①			
X ⊖	11826.711	11826.73	0.02
Y ⊕	9360.177	9360.17	0.007
②			
X ⊖	12492.407	12492.70	0.293
Y ⊕	9326.471	9326.46	0.010

上部土向松上乘 (基線1片 2-2)

測点号	X 基距	Y 槽距	高程
2-2	0.023.202	② 218.382	101.441
3-4	202.151	217.694	101.755
4-6	204.293	217.702	102.614
5-6	209.052	220.290	98.325
6-7	214.117	219.098	98.000
7-8	217.306	220.802	98.548
8-9	222.229	218.242	97.273
10	211.244	220.018	98.920
11	210.624	229.663	100.332
11	210.917	229.201	99.977
12	212.647	220.270	100.505
13	217.469	220.000	100.012
14	215.222	224.245	101.999
15	226.416	221.490	99.720
16	221.510	223.535	99.662
17	226.922	220.929	100.280



上部各点坐标及高程

275

测点号	X 坐标	Y 坐标	高程
7	874.67	1022.700	161.206
8	882.282	1029.303	159.483
9	891.445	1036.897	160.919
10	904.639	1042.421	161.747
11	915.248	1047.275	164.314
12	921.018	1051.205	168.938
13	943.962	1076.304	170.018
上部3号土坝			
11~1	718.219	1052.898	164.091
2	741.054	1048.658	161.803
3	745.057	1049.802	160.650
4	734.782	1031.928	147.491
5	767.396	1052.924	147.022

上部 各果斜切

216

測定名	X	Y	高さ
2	665.290	1072.265	135.250
3	673.909	1086.205	135.370
4	662.074	1079.836	146.303
5	655.995	1070.664	147.883
6	653.562	992.506	121.665
7	655.995	1070.664	
8	653.903	991.209	151.091
9	656.887	993.012	150.892
10	655.993	1070.827	121.500
11	653.407	991.200	151.470
12	658.019	994.985	151.224
13	665.630	1010.738	155.002
14	674.067	1023.900	156.396
15	683.231	1041.579	160.241
16	692.299	1050.048	161.925
17	690.816	1046.964	161.942
18	695.892	1052.042	161.929
19	707.078	1062.966	163.294
20	722.663	1076.832	167.466

上村土南土段 (卷尺测量 2-3)

	北 3区		
1-3	692.302	915.382	-105.441
4	702.151	912.634	-104.235
5	712.793	919.202	-102.614
6	713.152	924.990	-98.975
7	714.117	919.078	-98.005
8	719.306	920.802	-98.545
9	722.549	915.242	-92.221
10	751.944	920.018	-95.320
11	752.674	923.613	-100.272
11.0	752.517	923.201	-99.822
12	752.547	920.220	-100.505
13	757.669	920.070	-109.012
14	765.222	934.245	-111.222
15	772.416	921.278	-98.272
16	781.370	922.525	-99.653
17	785.233	932.929	-105.720

4/11

上部伝音部 27 A 3 片

	差	消	
7	-674.067	+1023.900	766.936
8	-182.332	+1039.303	757.441
9	691.445	1056.899	160.309
10	2046.659	1067.421	761.247
11	2152.448	1062.225	1043.14
12	2210.128	1075.305	1134.922
13	242.952	1076.304	124.018

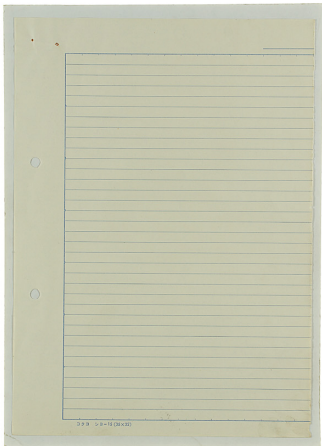
上部 3 片 21 片

1	218.219	1055.898	701.091
2	221.004	1048.674	161.303
3	225.007	1049.802	153.650
4	224.982	1031.928	127.491
5	262.376	1053.924	142.032

上海西局

斜形

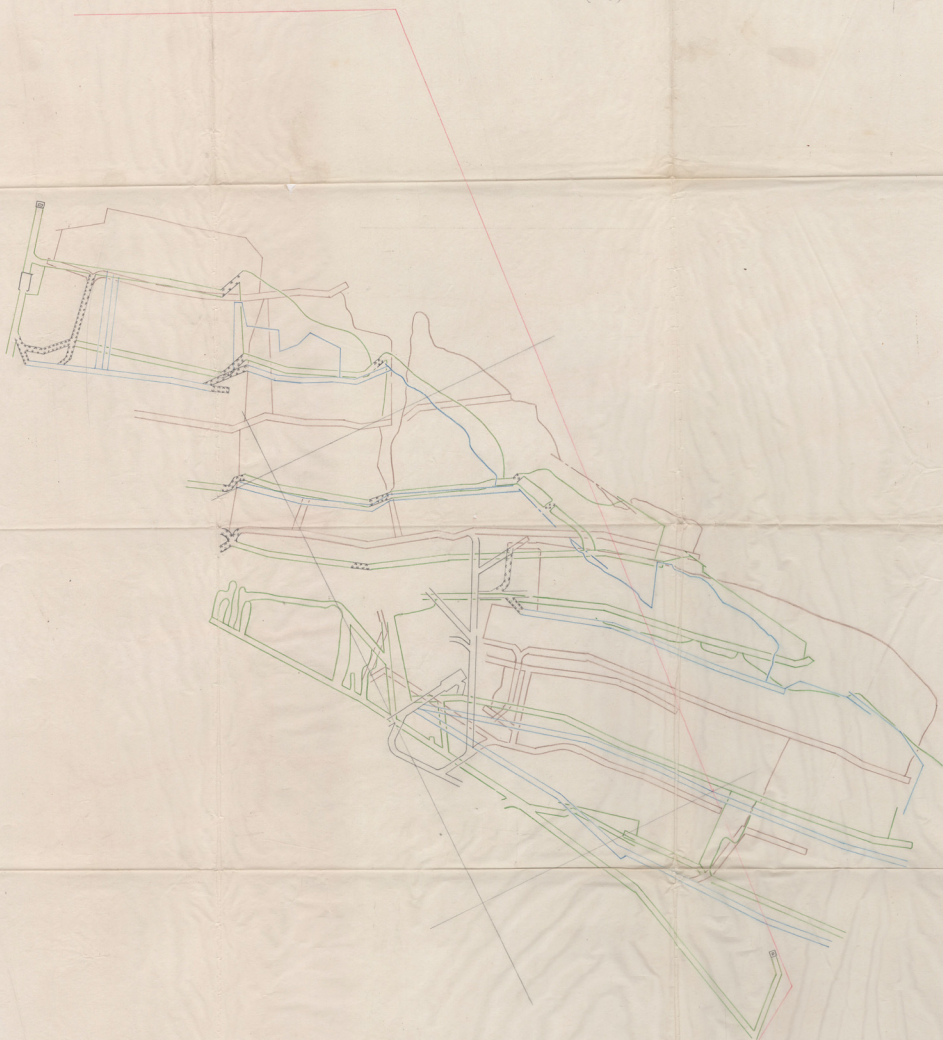
元	角	
- 685.470	+ 1072.965	785.495
- 623.309	1056.225	135.222
- 612.074	1019.836	196.303
- 645.995	1200.664	154.833
643.562	932.586	151.465
645.995	1000.654	
663.403	932.209	151.071
616.857	932.072	150.992
- 645.993	1000.007	154.100
643.407	932.200	151.470
659.017	934.965	151.324
665.630	1010.738	155.022
674.067	1023.800	156.336
682.231	1041.577	160.211
683.229	1052.048	161.725
690.816	1056.764	161.792
695.692	1059.092	161.729
707.078	1062.766	162.342
722.863	1070.832	162.966

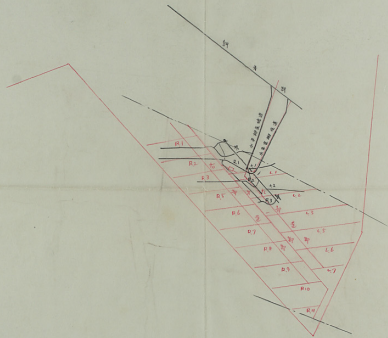


333 33-13 (24x32)

古河下山田鉾古洞圖

縮尺1200分の1 (本尺坪上部炭尺)
(580)







X - 2024.00
Y = 2026.00

S=1000

X - 2022.00
Y = 2026.00

- 八
- 七
- 六
- 五
- 四
- 三
- 二
- 一



白告一坑 坑内图 F-3100



水坑... 坑内图

下二尺
土内
海八

山丈
下二尺 1.0
土内 2.0
海八 1.0 井戸 3.0
P.S.P.

海八
土内
山丈





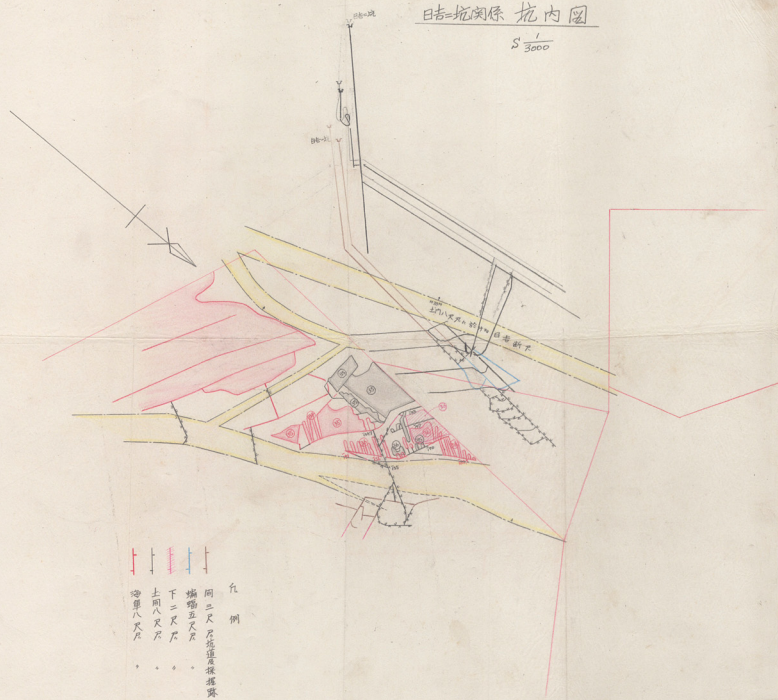
古
洞
圖

古
洞
圖

$\frac{1}{53000}$

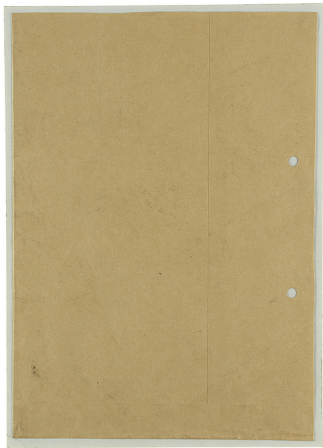
日吉=坑内係 坑内图

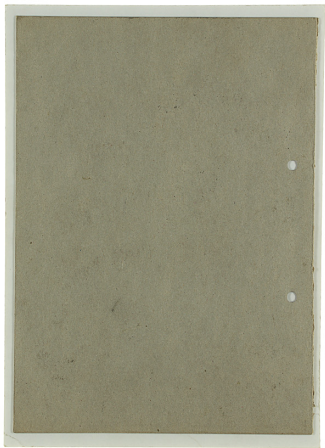
S $\frac{1}{3000}$



凡例

- 同二尺 穴 坑 掘 掘 掘
- 掘 掘 掘 掘 掘
- 下 三 尺 穴
- 土 洞 八 尺 穴
- 洞 八 尺 穴



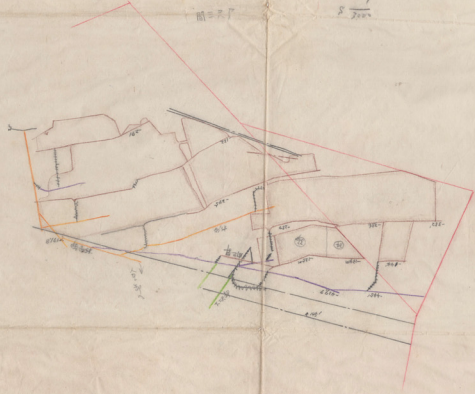
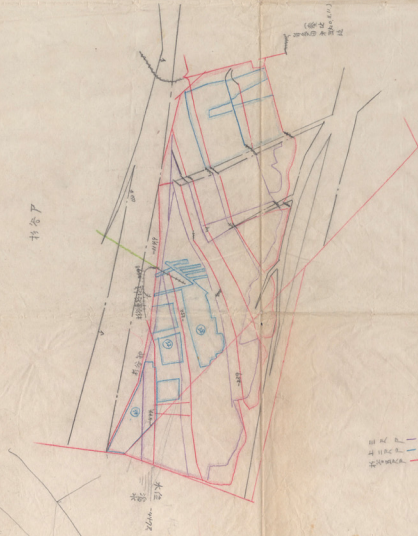


昭和41年10月24日

古河下山田築業所 曉安

釘課長 萩尾

付添ア

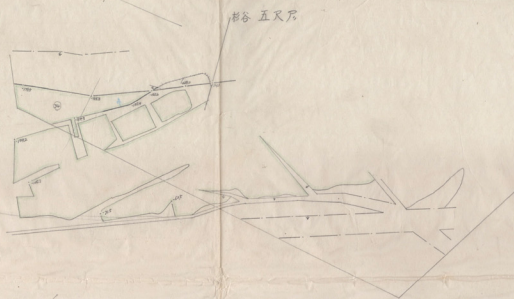
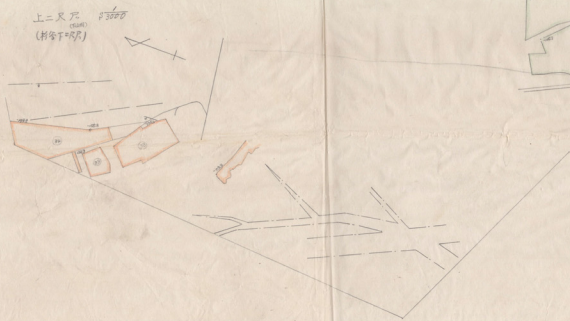
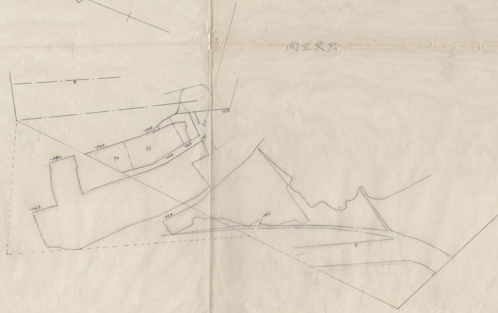
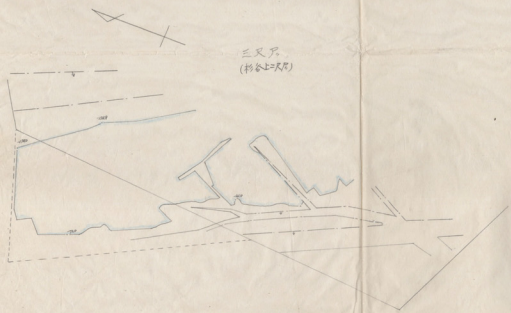


古河下山田鑛業所古洞圖

昭和36年12月1日

下山田鑛業所測繪室

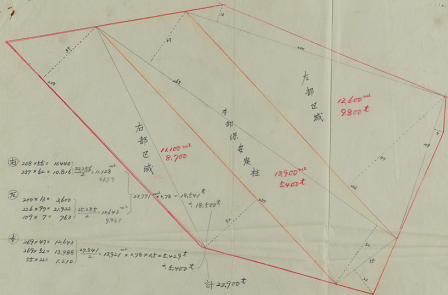
全長 50m 幅 10m



古河下山田鉦

古洞園 1/1200 (1/1000 原圖以縮尺1/1000)





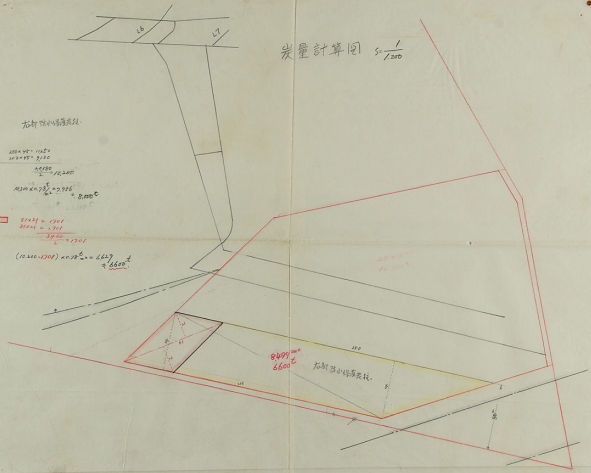
炭量計算圖 $S_0 = \frac{1}{1,200}$

右側 炭山 炭層 炭坑

$$\begin{aligned} 100 \times 100 &= 10,000 \\ 100 \times 100 &= 10,000 \\ \frac{10,000}{2} &= 5,000 \\ 10,000 \times 2 &= 20,000 \\ \frac{20,000}{2} &= 10,000 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 100 \times 100 &= 10,000 \\ 100 \times 100 &= 10,000 \\ \frac{10,000}{2} &= 5,000 \end{aligned}$$

$$(10,000 - 10,000) \times 2 = 0$$



8499
6600

右側 炭山 炭層 炭坑



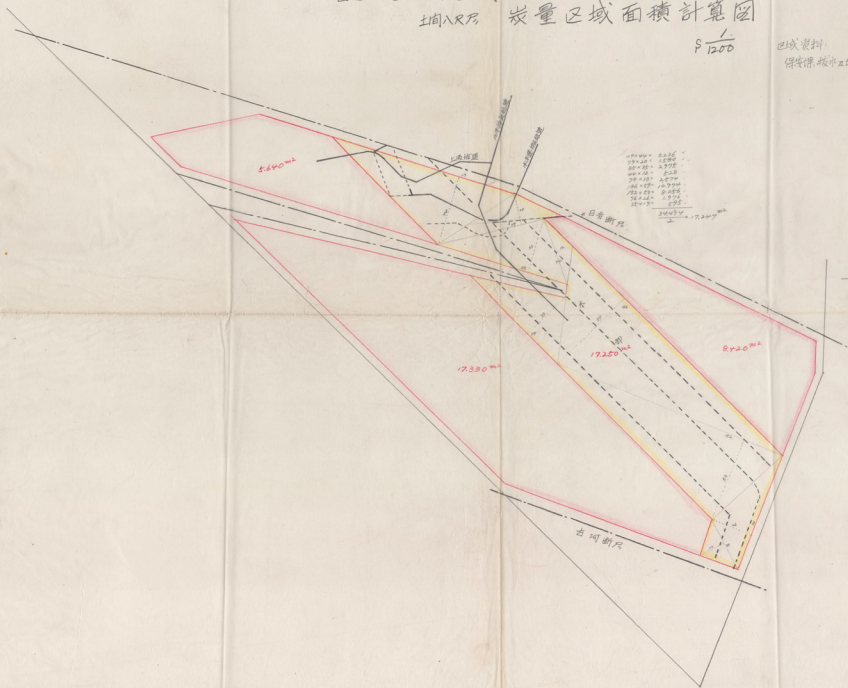
日者=坑深部区域

土角R尺

炭量区域面積計算圖

8 $\frac{1}{1200}$

区域資料
保安得 坡中 土角計測部 1/1200 4/6 作

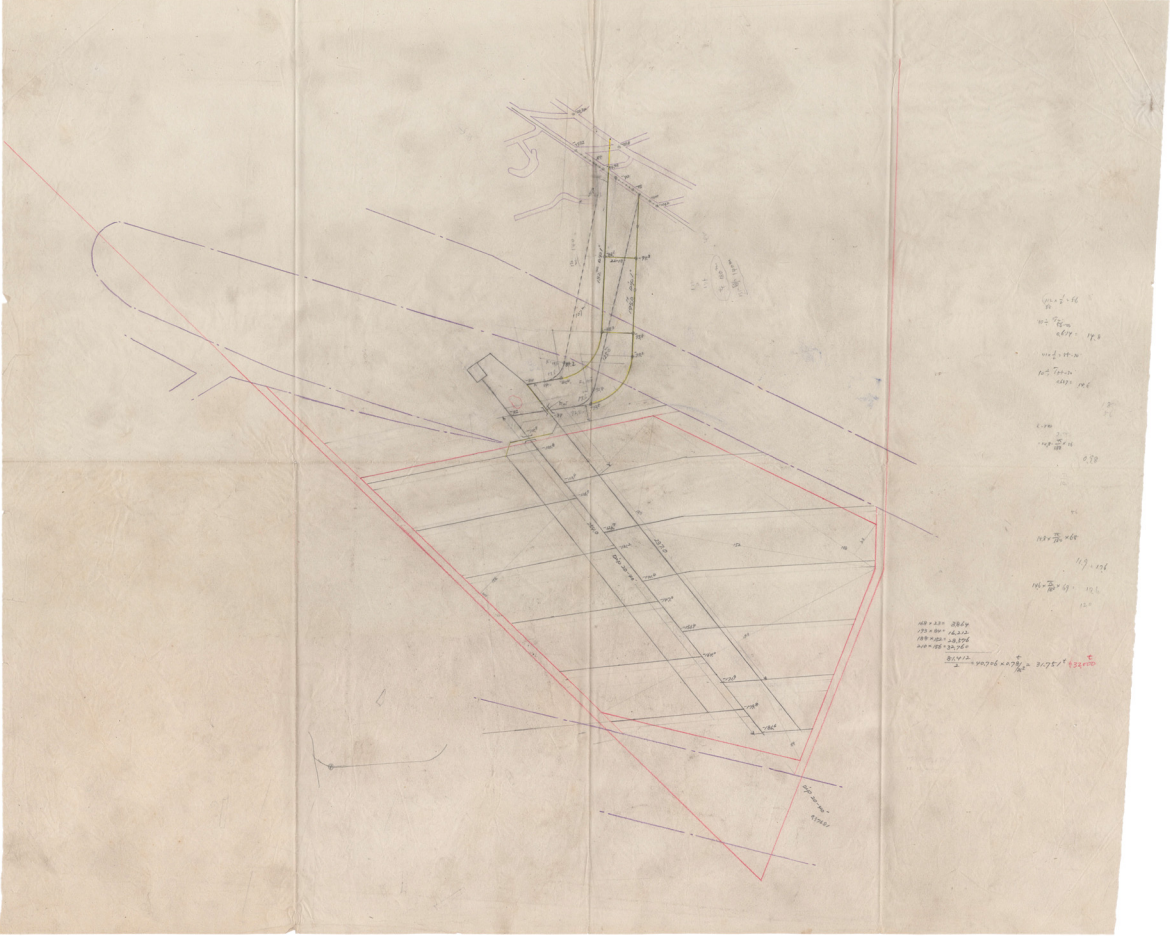


1-1-1-1	2.220
1-1-1-2	1.220
1-1-1-3	2.770
1-1-1-4	2.220
1-1-1-5	2.220
1-1-1-6	2.220
1-1-1-7	2.220
1-1-1-8	2.220
1-1-1-9	2.220
1-1-1-10	2.220
1-1-1-11	2.220
1-1-1-12	2.220
1-1-1-13	2.220
1-1-1-14	2.220
1-1-1-15	2.220
1-1-1-16	2.220
1-1-1-17	2.220
1-1-1-18	2.220
1-1-1-19	2.220
1-1-1-20	2.220
1-1-1-21	2.220
1-1-1-22	2.220
1-1-1-23	2.220
1-1-1-24	2.220
1-1-1-25	2.220
1-1-1-26	2.220
1-1-1-27	2.220
1-1-1-28	2.220
1-1-1-29	2.220
1-1-1-30	2.220
1-1-1-31	2.220
1-1-1-32	2.220
1-1-1-33	2.220
1-1-1-34	2.220
1-1-1-35	2.220
1-1-1-36	2.220
1-1-1-37	2.220
1-1-1-38	2.220
1-1-1-39	2.220
1-1-1-40	2.220
1-1-1-41	2.220
1-1-1-42	2.220
1-1-1-43	2.220
1-1-1-44	2.220
1-1-1-45	2.220
1-1-1-46	2.220
1-1-1-47	2.220
1-1-1-48	2.220
1-1-1-49	2.220
1-1-1-50	2.220

面積計算

全部積	40.640 m ²	
R部	5.640	炭量区域
R深部	17.330	
L部	8.420	
木部深部柱	17.250	
		31.000 m ²





$100 \cdot \frac{2}{100} = 2$
 $100 \cdot \frac{10}{100} = 10$
 $100 \cdot \frac{15}{100} = 15$
 $100 \cdot \frac{20}{100} = 20$
 $100 \cdot \frac{25}{100} = 25$
 $100 \cdot \frac{30}{100} = 30$
 $100 \cdot \frac{35}{100} = 35$
 $100 \cdot \frac{40}{100} = 40$
 $100 \cdot \frac{45}{100} = 45$
 $100 \cdot \frac{50}{100} = 50$
 $100 \cdot \frac{55}{100} = 55$
 $100 \cdot \frac{60}{100} = 60$
 $100 \cdot \frac{65}{100} = 65$
 $100 \cdot \frac{70}{100} = 70$
 $100 \cdot \frac{75}{100} = 75$
 $100 \cdot \frac{80}{100} = 80$
 $100 \cdot \frac{85}{100} = 85$
 $100 \cdot \frac{90}{100} = 90$
 $100 \cdot \frac{95}{100} = 95$
 $100 \cdot \frac{100}{100} = 100$

$100 \cdot \frac{20}{100} = 20$
 $100 \cdot \frac{30}{100} = 30$
 $100 \cdot \frac{40}{100} = 40$
 $100 \cdot \frac{50}{100} = 50$
 $100 \cdot \frac{60}{100} = 60$
 $100 \cdot \frac{70}{100} = 70$
 $100 \cdot \frac{80}{100} = 80$
 $100 \cdot \frac{90}{100} = 90$
 $100 \cdot \frac{100}{100} = 100$

50
100

福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭

鉱業株式会社

日吉鉱業所

電話

稲築四三〇番
大限一一番

昭和
年
月
日